学校法人栗岡学園　四条畷看護専門学校

2026年度Ｓｙｌｌａｂｕｓ

目次

基礎分野
倫理学----1
国語表現----2
情報科学----3
英語----4
人間関係論----5
心理学----6
生活科学----7
社会学（家族論）----8
教育学----9

専門基礎分野
解剖生理学Ⅰ----10
解剖生理学Ⅱ----11
生化学・栄養学----12
病態生理学----13
微生物学----14
薬理学----15
臨床検査論----16
疾病治療論Ⅰ----17
疾病治療論Ⅱ----18
疾病治療論Ⅲ----19
疾病治療論Ⅳ----20
疾病治療論Ⅴ----21
総合医療論----22
公衆衛生----23
社会福祉----24
関連法規----25

専門分野
基礎看護学概論----26
基礎看護学援助論Ⅰ----27
基礎看護学援助論Ⅱ----28
基礎看護学援助論Ⅲ----29
基礎看護学援助論Ⅳ----30
基礎看護学援助論Ⅴ----31
地域と暮らし----32
家族看護論----33
地域・在宅看護援助論Ⅰ----34
地域・在宅看護援助論Ⅱ----35
地域・在宅療養を支える看護----36
成人看護学概論----37
成人看護学援助論Ⅰ----38
成人看護学援助論Ⅱ----39

老年看護学概論----40
老年看護学援助論Ⅰ----41
老年看護学援助論Ⅱ----42
小児看護学概論----43
小児看護学援助論Ⅰ----44
小児看護学援助論Ⅱ----45
母性看護学概論----46
母性看護学援助論Ⅰ----47
母性看護学援助論Ⅱ----48
精神看護学概論----49
精神看護学援助論Ⅰ----50
精神看護学援助論Ⅱ----51
看護の統合と実践Ⅰ----52
看護の統合と実践Ⅱ----53
看護の統合と実践Ⅲ----54
看護の統合と実践Ⅳ----55
看護の統合と実践Ⅴ----56
統合看護演習Ⅰ----57
統合看護演習Ⅱ----58
統合看護演習Ⅲ----59

臨地実習
臨地実習概要----60

授業科目	倫理学	年次	1年次	単位	1単位	担当者	野々村　梓
			後期	時間	15時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている
目標	倫理学的な考えを通して、社会的存在としての人間の生き方、価値観、ものの見方を学び、自己の倫理観を持つことができる

授業計画 回数	講義内容	備考
1	1．講義計画、シラバス、授業の方針等説明 2．倫理学とはなにか	講義 グループワーク
2	1．倫理を学ぶ意味 2．看護倫理として必要な義務論、功利主義について	
3	1．生命倫理について 2．インフォームドコンセントについて	
4	1．倫理原則およびバルセロナ宣言 2．生命の尊厳性について 3．性的マイノリティー、LGBTについて社会的側面から考える	
5	1．妊娠人工中絶、生殖医療の倫理的な側面について 2．ホスピスケア、緩和ケアについて	
6	1．ホスピスケアの概念から鎮静の倫理的妥当性について 2．サラ・フライの倫理原則について	
7	1．看護師の責務と倫理原則、ケアについて 2．事例を用いながら倫理原則についてディスカッション 3．患者にとっての自律無害について考える	
8	1．終講試験（論文作成）	

評価方法	筆記試験　　100点満点
テキスト	系統看護学講座別巻　看護倫理：医学書院.
参考図書	
message	倫理学を学ぶことで、看護の対象である人間の存在価値、生命倫理について考え、看護実践の土台が築けるよう学んでいきましょう。 授業終了後、感想・質問を提出します。
教員の実務経験	実務経験なし

授業科目	国語表現	年次	1年次	単位	1単位	担当者	足髙　壱夫
			前期	時間	15時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている
目標	1．文章を論理的に理解することができる 2．自らの考えを「ことば」として論理的に表現できる 3．自らの「ことば」を、目的・場面に応じ実践的に使用することができる

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	ガイダンス／論理的な文章（レポートや論文）とはどのような文か、作文やエッセイ等と比較しながら説明する。	講義 演習
	2	日本語の語順と読点／文における語順や読点の適切な打ち方を説明する。	
	3	文章の構成／文章の基本的な型（起承転結あるいは序論・本論・結論）と書き方について説明する。小論文を書く。	
	4	文章の要約・読解／接続表現・文章構成・パラグラフを構成する文と、文章要約の仕方について説明する。	
	5	日本語の表現／敬語の使い方、話し言葉と書き言葉について説明する。	
	6	話し方の実践／言いたいことを整理して伝える方法と、相手の話を的確に受け取り質問する方法について説明する。	
	7	まとめ／これまで学習したことを振り返り、第三者に説明するために必要なことを確認する。	
	8	終講試験	

評価方法	課題文30%、筆記試験70%　100点満点
テキスト	授業内で適宜資料を配布する。
参考図書	本多勝一『【新版】日本語の作文技術』朝日新聞出版、 野矢茂樹『増補版　大人のための国語ゼミ』山川出版
message	本授業では、各授業で課されるレポート・論文を作成する力、会話の中での話す力、聞く力を身につけるため、基本的な知識・技術の修得を目指しています。文章作成については、①語彙力、②課題・内容に関する知識、③文章作成技術があり、この中で授業では③についての力の向上を目指します。授業内で文を書くことがありますが、書いた後に必ず推敲する（おかしい所がないか読み直し、修正する）癖をつけましょう。 7回の授業では文章力、対話力を十分に身につけることは困難です。授業が終了した後も、話す・聞く、書く・読む際に、ここでの学習内容を意識していきましょう。
教員の実務経験	実務経験なし

授業科目	情報科学	年次	1年次	単位	1単位	担当者	徳永　怜
			前期	時間	30時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．情報（処理）に関する知識を習得した上で、統計分析の手法を理解する 2．保健医療における情報の利用・作成、情報を利用したコミュニケーションの仕方について学習する 3．ソーシャルメディアリテラシーについて学習する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	文書の作成・編集	講義 コンピューターを利用した演習
	2	データの入力・編集	
	3	数式・関数の利用	
	4	データベースの利用	
	5	集計表の作成	
	6	度数分布表の作成	
	7	グラフの作成	
	8	Excelによる統計解析(1)：統計的推定	
	9	Excelによる統計解析(2)：検定と分析	
	10	情報の発表の仕方・方法	
	11	アンケート・データの分析	
	12	プレゼンテーションの準備	
	13	プレゼンテーション	
	14	ソーシャルメディアリテラシーの基礎知識	
	15	終講試験	

評価方法	授業内課題30%　筆記試験50%　レポート20%　　100点満点
テキスト	テキストは指定せずに資料を配布する
参考図書	中山和弘他［2025］『系統看護学講座（別巻）看護情報学』医学書院
message	スマートフォンやタブレット端末の普及によって、みなさんのまわりには情報があふれています。このような状況は日常生活を便利にする一方で、情報の管理・利用・分析の仕方や情報を利用したコミュニケーションの方法を学ぶことを不可欠にしています。 授業では、保健医療における情報の管理・利用の仕方に加えて、収集した情報を分析する手法や分かりやすく伝える方法を学んでいきましょう。また情報リテラシーについても学んでいきましょう。
教員の実務経験	実務経験なし

授業科目	英語	年次	1年次	単位	1単位	担当者	昆布　孝子
			前期	時間	30時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	国際共通言語としての英語による基礎的コミュニケーション能力を身につけ、国際化する社会での看護活動に役立つ英語を学習する

授業計画 回数	講義内容	備考
1	オリエンテーション（テキスト、授業の内容等について説明）	講義
2	Chapter 1　Welcoming a Paitent	
3	Chapter　2　Taking Vital Signs	
4	Chapter 3　Pain Assesment	
5	Chapter 4　Feeling So Sick!	
6	Chapter 5 Tansffering a Paient	
7	Chapter 6 Medical Department	
8	Chapter 7 **Review & Medical Terminology**	
9	Chapter 8 Personal Care	
10	Chapter 9 Giving Medication to a Patient	
11	Chapter 10 Elimination(Bowel movement/Urination)	
12	Chapter 11 Chronic Diseases	
13	Chapter 12 Critical Care / Operating Room	
14	Chapter 13 Pregnancy Ckeck-up	
15	**Review & Medical Reading　筆記試験**	

評価方法	筆記試験　70%　プリント提出等　30%　　100点満点
テキスト	"Talking with Your Patients in English"　アニメで学ぶ看護英語　（株）成美堂
参考図書	
message	Let's have fun talking in simple English! Let's have a good talk in Cross-cultures!
教員の実務経験	実務経験なし

授業科目	人間関係論	年次	1年次	単位	1単位	担当者	キャンベル早川久美子
			前期	時間	15時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている
目標	自己理解を深め、そのうえでコミュニケーションの知識、技法を学ぶことにより、人間関係を良好に保つ能力を身につけるとともに、看護の対象となる人との良好な関係づくりの基盤を学ぶ

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	人間関係論とは　　関係的存在としての人間	講義 グループワーク
	2	自己認知　対人認知	
	3	対人関係と役割	
	4	態度と対人関係	
	5	集団と個人　集団の特性　集団による意思決定	
	6	様々なコミュニケーション（対人コミュニケーション、マスコミュニケーション、ICTコミュニケーションなど）	
	7	保健医療チームにおける人間関係	
	8	終講試験	

評価方法	筆記試験70%　　レポート30%　　100点満点
テキスト	系統看護学講座　基礎分野　人間関係論　医学書院
参考図書	適宜資料配布
message	人の生活には不可欠なごく日常的な人間関係について、先人の考えや研究に触れることにより初めて気づかされる問題も多いと思います。それらについてメンバー同士が突き詰めて考えあい、看護実践に生かせるような学習の機会として関係性について考えを深めましょう。
教員の実務経験	実務経験なし

授業科目	心理学	年次	1年次	単位	1単位	担当者	高橋　千香子
			後期	時間	15時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている
目標	1．人の心の成り立ちや働き、発達について理解する 2．傾聴の技術、コミュニケーション・スキルの基本を身につける 3．対人援助職におけるメンタルヘルスの重要性について理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	心理学とは何か　知覚と認知	講義 演習 グループワーク 毎回振り返りシートを提出する
	2	学習と記憶	
	3	ライフサイクルと発達・家族	
	4	心のとらえ方と防衛機制　エゴグラム	
	5	カウンセリング・マインドと聴く技術	
	6	コミュニケーション・スキルにおけるアサーションとは	
	7	メンタルヘルスと認知行動療法	
	8	終講試験	

評価方法	筆記試験100点満点
テキスト	講師作成の資料を配付する。
参考図書	面白いほどよくわかる！臨床心理学（西東社） 生涯発達人間論（医学書院） 心理学・入門（有斐閣アルマ）　　その他、授業内で紹介する。
message	心理学は、人の心に関する科学的な学問です。本講義では心の成り立ちや働き、そして対人援助職に欠かせない相手の話を聴く姿勢や望ましいコミュニケーションのあり方、メンタルヘルスの重要性を中心に学びます。この講義をきっかけに心理学に興味を持ち、自分自身や他者の心を知ることやコミュニケーションの大切さに気づき、看護の実践だけでなく日々の生活にも役立ててほしいと思います。
教員の実務経験	実務経験なし

授業科目	生活科学	年次	1年次	単位	1単位	担当者	小河　一敏
			前期	時間	15時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている		
目標	1．人間の生活の具体的な整え方を、生命とは・人間とはという原理から把握し、人間を生活者としてとらえる視点を養う 2．学生自身が自己の生活を見つめなおし改善していく		
授業計画	回数	講義内容	備考
	1	基礎分野としての生活科学の位置づけを把握する。	講義 グループワーク
	2	生活科学が将来看護にどうつながっていくかを展望する	
	3	「換気と保温」を題材として「生命とは」という原理と生活をつなげていく初歩を学ぶ。	
	4	熱の伝わり方から、ナイチンゲールが説く具体的方法の仕組みをつかむ。	
	5	「住居の健康」を題材に生活環境を整えるポイントをつかみ、より具体的な方法を学ぶ。	
	6	清潔の意味を「生命とは」から理解する。	
	7	「ベッドと寝具類」を清潔と保温の両面から学ぶ。さらに「陽光」を学ぶことで、人間の昼間と夜間の生理構造をつかむ。	
	8	以上から生活過程の姿としてライフサイクルを描く。	
評価方法	レポート100点満点　（毎回の課題レポートと最終レポート）		
テキスト	『看護覚え書』現代社 【『看護覚え書』に学ぶ生活科学ワークノート】アノック 『看護学生、宇宙を学ぶ』アノック		
参考図書	『ナースが視る人体』講談社 『ナースが視る病気』講談社		
message	近代看護の原点ともいえる F.ナイチンゲール著『看護覚え書』を、基本に戻って日常生活の事実から理解していきます。『看護学生、宇宙を学ぶ』は、『看護覚え書』への入門書となっています。授業開始前に楽しみながら読み始めてください。		
教員の実務経験	実務経験なし		

授業科目	社会学（家族論）	年次	1年次	単位	1単位	担当者	武田　祐佳
			前期	時間	30時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている
目標	1．社会学の基礎的な概念を理解し、学んだ概念を使って人間関係や社会現象を解読するための「社会学的思考力」を身につける 2．現代家族をとりまくさまざまな問題を理解するための基本的な知識を身につける

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	社会学とはどういう学問か	講義
	2	社会的存在としての人間（1）―社会化と自己	
	3	社会的存在としての人間（2）―社会化とジェンダー	
	4	社会的存在としての人間（3）―地位と役割	
	5	集団のなかの個人	
	6	組織のなかの個人	
	7	社会的逸脱	
	8	行為の意図せざる結果（1）－予言の自己成就	
	9	行為の意図せざる結果（2）－社会的ジレンマ	
	10	自殺と社会	
	11	「家族」を考えるための基礎知識	
	12	日本における家族（1）－未婚化・晩婚化	
	13	日本における家族（2）－家族とジェンダー	
	14	日本における家族（3）－家族とケア	
	15	終講試験	

評価方法	筆記試験80%、リアクションペーパーの内容20%　100点満点
テキスト	なし。教員が作成したレジュメや文献資料を用いる。
参考図書	授業中に適宜紹介する。
message	「社会学」は小中高にはないカリキュラムなので、学問のイメージが浮かびにくいと思います。社会学では普段私たちがあたりまえと思っていたり、気にもとめないことがらを「見よう」「理解しよう」とするので、難しいことばが出てきますが、授業では身近な例をあげ、できるだけ平易に解説していきます。
教員の実務経験	実務経験なし

授業科目	教育学	年次	1年次	単位	1単位	担当者	中田　正浩
			前期	時間	30時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている		
目標	人間形成における教育の機能・役割を理解し、主体的に学習する能力と看護の教育的役割を認識する		
授業計画	回数	講義内容	備考
	1	第2章　教育とは何か―「教育」の概念	講義
	2	第1章　社会の中の教育と看護　　第3章　教育の対象	グループワーク
	3	第4章　社会の変動と教育　　第5章　教育の組織化－学校	
	4	第6章　教授―人を教えるということ 第7章　訓育―他者とのかかわりを導く	
	5	第8章　養護―教育の受け手を見守る 第9章　発達―教育を受けて成長する	
	6	新聞を通して「教育学」を学ぶ 第18章　生涯学習　　第19章　シティズンシップ教育	NIE活動
	7	現代教育の課題　教師という職業	
	8	現代教育の課題　特別支援学校 第17章　特別ニーズ教育・インクルーシブ教育	
	9	現代教育の課題　ジェンダー教育 第16章　ジェンダーとセクシュアリティ	
	10	現代教育の課題　18歳成人	
	11	現代教育の課題　ヤングケアラー	
	12	第10章　学びの場―家庭と学校 第11条　教育の目標と評価	
	13	第12条　教育のメディア―教育をデザインする 第13章　教育の担い手―専門性と専門職性	
	14	第14章　教育の場の変動―教育環境の変化にどう対応するか	
	15	終講試験　「教育学」のまとめ	
評価方法	筆記試験70%　レポート30%　100点満点		
テキスト	系統的看護学講座「教育学」医学書院		
参考図書			
message	人間を幅広くとらえ、日々発展していく医療の中で、個々の人権を尊重した教育的なかかわりについて考えていきましょう。また、自己成長のためのキャリアについて考える機会となるよう望みましょう。		
教員の実務経験	実務経験なし		

授業科目	解剖生理学Ⅰ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	前田　裕子
			前期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	人体の各器官系統と、その働きについて学び、人体の構造と機能を統合して理解できる

授業計画 回数	講義内容	備考
1	総論 人体の区分　①	講義
2	人体の区分　②	
3	細胞の分裂、上皮組織、支持組織	
4	骨組織、軟骨組織、筋組織、神経組織の区分	
5	骨格(頭部の骨)、関節の種類	
6	骨格(脊椎、上肢、下肢：骨盤まで)	
7	骨格(自由下肢の骨格)、筋系(頭部、顔面)	
8	筋系（背部、腹部、上肢、下肢）	
9	大腿・下腿の筋、筋の生理、神経の構造	
10	自律神経の構造と機能、脊髄	
11	大脳の構造と機能、延髄、橋、中脳の構造と機能、間脳の機能 小脳の構造	
12	末梢神経(脳神経、脊髄神経)	
13	脳波、睡眠、伝導路(反射、上行・下行伝導路) 感覚器(視覚)	
14	感覚器(聴覚・味覚・嗅覚) 男性生殖器系　女性生殖器系	
15	終講試験　まとめ	

評価方法	筆記試験　　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ　人体の構造と機能「解剖生理学」　　メディカ出版
参考図書	資料随時配布
message	人体の構造はどうなっているのだろうかと既習の知識を想起し素朴な疑問を持って学習に臨みましょう。また看護を行う上で土台となる知識なので、覚えるのではなく理解して学習を進めることが大切です。 中間試験を行います。
教員の実務経験	実務経験なし

授業科目	解剖生理学Ⅱ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	前田　裕子
			前期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	人体の各器官系統と、その働きについて学び、人体の構造と機能を統合して理解できる

授業計画 回数	講義内容	備考
1	呼吸器系(鼻・咽頭・喉頭・喉頭・気管気管支・肺胞)	講義
2	呼吸のしくみ、呼吸の生理	
3	循環器系(心臓の構造としくみ、血管の生理)	
4	血管の総論、動脈系血管	
5	静脈系血管、胎生期の循環、リンパ体幹	
6	リンパ節、胸腺、脾臓 消化器系(口腔・歯・唾液腺)	
7	消化器系(胃・小腸・大腸、排便のしくみ)	
8	消化器系(肝臓・脾臓)、腹膜、血液(赤血球)	
9	血液(白血球・血小板)、止血、血液型	
10	血漿、泌尿器系(腎の構造、尿道、膀胱、尿管)	
11	排尿のしくみ、体液(水の出納、電解質,PHの異常)	
12	免疫(体液性免疫、細胞性免疫、抗体の種類、 Tリンパ球・Bリンパ球の種類)	
13	免疫の異常(アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全症) 体温の調節、ホルモンの種類(ステロイド、ペプチド、アミン等)	
14	下垂体―視床下部ホルモン、甲状腺ホルモン、血糖値を調整するホルモン　　血中Ca濃度＆調整するホルモン 副腎皮質・髄質ホルモン、性ホルモン、その他のホルモン	
15	終講試験　まとめ	

評価方法	筆記試験　　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ　人体の構造と機能「解剖生理学」　　メディカ出版
参考図書	資料随時配布
message	人体の構造はどうなっているのだろうかと既習の知識を想起し素朴な疑問を持って学習に臨みましょう。また看護を行う上で土台となる知識なので、覚えるのではなく理解して学習を進めることが大切です。 中間試験を行います。
教員の実務経験	実務経験なし

学校法人栗岡学園　四条畷看護専門学校　　【実務経験のある教員】

授業科目	生化学・栄養学	年次	1年次	単位	1単位	担当者	三浦さつき
			前期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．人間の栄養と代謝、恒常性とその調節について学び、人間の生命現象のメカニズムを理解する 2．食と健康の関わりの中で、食事療法の意義、実際を理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	代謝総論、酵素	講義 課題
	2	糖質の構造と機能	
	3	糖質の代謝	
	4	脂質の構造と機能、代謝	
	5	タンパク質の構造と機能	
	6	タンパク質の代謝	
	7	核酸の構造と機能	
	8	核酸の代謝、遺伝情報	
	9	ビタミンとその欠乏症	
	10	臨床栄養学の基礎知識	
	11	食品成分と食事摂取基準	
	12	日常生活と栄養	
	13	療養生活と栄養	
	14	疾患別の栄養食事療法、食事指導の実際	
	15	終講試験(解説)	

評価方法	筆記試験　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ　人体の構造と機能「臨床生化学」　メディカ出版 ナーシンググラフィカ　疾病の成り立ち「臨床栄養学」　メディカ出版
参考図書	
message	この授業は、生化学の専門分野の知識を深める授業になります。また、臨床で役立つ食生活指導の実際も含まれます。しっかり教科書に目をとおしてイメージを図り授業に臨んで下さい。 中間試験を行います。
教員の実務経験	実務経験なし

授業科目	病態生理学	年次	1年次	単位	1単位	担当者	中川　三郎
			前期	時間	15時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている		
目標	疾病の原因や成り立ちを理解し、形態による分類や生体の反応について理解する		
授業計画	回数	講義内容	備考
	1	病理で学ぶこと、細胞・組織の障害と侵襲	講義
	2	循環障害	
	3	炎症と免疫、移植と再生医療	
	4	感染症	
	5	代謝障害	
	6	先天異常、遺伝子異常	
	7	腫瘍	
	8	終講試験	
評価方法	筆記試験100点満点		
テキスト	ナーシンググラフィカ　疾病の成り立ち「病態生理学」　　メディカ出版		
参考図書			
message	病理学総論は病気の原因・経過及び結果を追求し、病気における形態と機能の変化を明らかにすることにより病気の本態を究明する学問です。正常な人間の構造と機能とともに重要な学問ですから、解剖生理学等の既習学習を復習して臨みましょう。		
教員の実務経験	医師としての実務経験を30年以上有し講義にあたっている		

授業科目	微生物学	年次	1年次	単位	1単位	担当者	笠原　敬
			後期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．微生物の性状、病原性とそれによって生じる病態としての感染症を理解する 2．感染症の発生動向、行政対応、治療および予防介入について理解する

授業計画 回数	講義内容	備考
1	1. 微生物と微生物学　2. エネルギー代謝と物質代謝	講義
2	1. 分裂と増殖　2. 原虫の伝播経路、感染様式	
3	1. ウイルスの性質　2. 個体間のウイルスの広がり	
4	1. 感染に対する生体防御機構　2. 自己寛容と自己免疫	
5	1. 感染源、感染経路からみた感染症 2. 消毒薬に対する病原体の抵抗性	
6	1. 感染予防の理念と実際　2. その他の治療法	
7	1. 感染症の現状と対策　2. 百日咳菌	
8	1. グラム陰性 通性菌 2. ヘリコバクター・ピロリー菌	
9	1. グラム陽性　桿菌　2. スピロヘータ	
10	1. ボレリア　2. 大腸バランチジウム	
11	1. DNA ウイルス　2. 狂犬病ウイルス	
12	1. 狂犬病ウイルス　2. ヒト免疫不全ウイルス	
13	1. 肝炎ウイルス　2. プリオン	
14	1. 問題集演習	
15	終講試験	

評価方法	筆記試験　　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ　疾病の成り立ち「臨床微生物・医動物」　　メディカ出版
参考図書	
message	近年感染症は医療に於いて重要な課題となっています。特に病院における感染症の発現と COVID19、インフルエンザやエイズのような世界的な広がりをもたらす病原体について正確な知識を持つことによって、臨床現場で役立てましょう。
教員の実務経験	医師としての実務経験を25年以上有し講義にあたっている

授業科目	薬理学	年次	1年次	単位	1単位	担当者	福田　里美
			後期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	薬理作用の基礎知識に基づき、薬物の特徴、作用機序、人体への影響および薬物の管理について理解できる

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	薬物療法の目的、薬理作用の用語解説、治療域と安全性の問題 受容体の種類と作用薬、拮抗薬の違い、経口与薬と注射薬の特徴	講義
	2	薬の投与経路、薬物動態に関係する要因と注意事項 半減期と血中濃度モリタニングの意義、新生児、高齢者の薬物療法の注意点	
	3	薬物耐性と依存の問題、薬物動態学的および薬力学的要因からくる副作用 腎障害、肝障害患者の注意点、臓器特異性副作用が生じる薬剤	
	4	受容体が関係する副作用、管理医薬品の種類と注意、新薬開発の流れ、感染 症治療の用語説明、ペニシリン系、セフェム系、アミノグリコシド系抗生剤	
	5	テトラサイクリン系、マクロライド系、ニューキノロン系の特徴、副作用 抗結核薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬、抗がん薬の基本的事項と各種作用機序	
	6	免疫のしくみ、免疫抑制薬と増強薬、抗炎症薬の作用機序と副作用のおこる 仕組み、アラキドン酸カスケード、副腎皮質ステロイドの副作用	
	7	抗リウマチ薬の作用、痛風治療薬の特徴、作用点の違い、自律神経の基礎 受容体の種類、伝達物質の違い、作用薬、拮抗薬の臨床作用について	
	8	副交感神経受容体に対しての作動薬、拮抗薬について、筋弛緩薬の種類と作 用機序、麻酔薬・催眠薬の使用方法について	
	9	抗精神病薬の作用の仕方と副作用.うつ状態の発現と抗うつ薬の作用点、 てんかん、発作の型と抗てんかん薬の使い分け、麻薬性鎮痛薬の基本作用	
	10	降圧薬について、狭心症治療の考え方、ジギタリスの効果	
	11	ジギタリス以外のうっ血性心不全治療薬、利尿薬の薬理作用 不整脈治療薬の分類、脂質異常の治療薬、貧血症状の原因の区別と治療方法	
	12	抗凝固薬のヘパリン・ワッファリン・血栓溶解薬・気管支喘息治療・消化性 潰瘍薬の種類と作用機序と問題点、さまざまなホルモン関連薬	
	13	糖尿病用薬の種類と効能、骨粗鬆症治療薬、ビタミン剤の区別、欠乏症 皮膚科、眼科用剤、消毒薬の使用目的と使い分け、輸液剤の種類と使用目的	
	14	要点まとめ	
	15	終講試験　　問題解説	

評価方法	筆記試験　　100点満点
テキスト	系統看護学講座「薬理学」医学書院、ナーシンググラフィカ　疾病の成り立ち「臨床薬理学」メディカ
参考図書	適宜資料の配布あり
message	看護師は患者と接する機会が最も多く薬物治療を受けている患者の回復に果たす役割は大きい。患者が治療効果を得られるように薬物治療への理解を深め、看護実践で活かせるよう予習復習を行い積極的に授業に臨みましょう。
教員の実務経験	薬剤師として実務経験を１５年以上有し講義にあたっている

授業科目	臨床検査論	年次	1年次	単位	1単位	担当者	寺元　弘 北崎　真大 渡邊　泰生 石田　千賀
			後期	時間	15時間		

DP	２．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている ４．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている		
目標	医療分野において診断をするために重要な役割を果たしている検査について、看護師が業務を行う上で必要となる基礎知識を学ぶ		
授業計画	回数	講義内容（担当教員）	備考
	1	放射線概論、放射線防護、一般撮影、画像の見方について	講義 担当教員 １回　北崎 ２回　渡邊 ３回　石田 ４～７回　寺元
	2	CT、MRI、の注意点	
	3	RI、血管造影について	
	4	臨床検査の基礎、検体の採取・保存、取り扱い	
	5	血液学的検査の種類、骨髄検査での看護	
	6	微生物学・病理検査と注意点	
	7	心電図、呼吸機能検査、脳波、エコーの介助	
	8	終講試験	
評価方法	筆記試験100点（放射線検査：北崎、渡邊、石田3人で50点　臨床検査：50点）		
テキスト	系統看護学講座　別巻　臨床検査　医学書院 系統看護学講座　別巻　臨床放射線医学　医学書院		
参考図書			
message	医療の発展に伴い多くの検査が実施され、検査は診断につながる重要な役割を果たしています。また、看護診断を行っていく上でも臨床検査の基礎知識は必要です。検査は何のために行われるのか、どのような方法で実施されているのかを学習していきましょう。		
教員の実務経験	各々が臨床検査技師、放射線技師として実務経験を5年以上有し講義にあたっている		

授業科目	疾病治療論Ⅰ 呼吸器・循環器	年次	1年次 後期	単位 時間	1単位 30時間	担当者	中川　三郎 中村　珍輔

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．疾病の原因や成り立ちを理解し、形態による分類や生体の反応について理解する 2．既習の形態機能学と連動させ、呼吸器・循環器疾患について成因と病態生理、検査・治療について学ぶ

授業計画

回数	講義内容	備考
1	呼吸器の構造と機能	講義
2	呼吸器症状と病態生理　①	
3	呼吸器症状と病態生理　②	
4	呼吸器疾患の検査	
5	肺疾患の治療、処置	
6	感染症、結核	
7	間質性肺疾患、気道疾患	
8	呼吸不全、肺腫瘍	
9	循環器疾患の病理所見	
10	心電図と不整脈	
11	虚血性疾患	
12	弁異常と先天異常と心筋症、心不全、肺性心など	
13	高血圧	
14	動・静脈、リンパ管疾患	
15	終講試験　まとめ	

評価方法	筆記試験100点（呼吸器：中川50点、循環器：辻井50点）
テキスト	ナーシンググラフィカEX1「疾患と看護（呼吸器）」　メディカ出版 ナーシンググラフィカEX2「疾患と看護（循環器）」　メディカ出版
参考図書	国家試験問題集
message	生命に直結し系統の関連性があるので、しっかり解剖生理学を復習し授業に臨んで下さい。そうすると関連性が理解できると思います。
教員の実務経験	各々が医師として30年以上、理学療法士として10年以上の実務経験を有し講義にあたっている

授業科目	疾病治療論Ⅱ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	良元　文弘 鳴海　由梨
			後期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．疾病の原因や成り立ちを理解し、形態による分類や生体の反応について理解する 2．既習の形態機能学と連動させ、消化器・脳神経疾患について成因と病態生理、検査・治療について学ぶ

授業計画

回数	講義内容	備考
1	消化器の検査と治療　①	講義 担当教員 1～7回　良元 8～14回　鳴海
2	消化器の検査と治療　②	
3	食道・胃・十二指腸	
4	腸の疾患・肝炎	
5	肝不全・肝硬変・膵疾患	
6	手術侵襲と生体反応、麻酔法	
7	全身麻酔(呼吸管理、栄養・体液管理)、 低侵襲手術	
8	脳神経・血管の解剖生理	
9	脳神経系の症状と病態生理	
10	検査・診断と治療・処置	
11	クモ膜下出血	
12	脳血管障害（CVD）：脳梗塞、脳出血	
13	CVD：クモ膜下出血、もやもや病	
14	頭部外傷　　脳腫瘍、脳ヘルニア、	
15	終講試験　まとめ	

評価方法	筆記試験100点（消化器：良元50点、脳神経：鳴海50点）
テキスト	ナーシンググラフィカ EX3　「疾患と看護（消化器）」　　メディカ出版 ナーシンググラフィカ EX5　「疾患と看護（脳神経）」　　メディカ出版
参考図書	
message	食べることや排泄することは日常的で、消化器系が障害されることはイメージしやすいと思います。また脳神経系の障害は日常生活に大きな影響を与えるところです。いずれにしても解剖生理学の知識が重要です。解剖生理学の復習をして臨みましょう。手術療法については新たな専門的な知識の学習になると思います。
教員の実務経験	各々が医師としての実務経験30年以上、看護師、教育者としての10年の実務経験を有し講義にあたっている

授業科目	疾病治療論Ⅲ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	松浦　純平 陰山　克 堀木　聡
			後期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．疾病の原因や成り立ちを理解し、形態による分類や生体の反応について理解する 2．既習の形態機能学と連動させ、内分泌・血液・アレルギー疾患の成因と病態生理、検査・治療について学ぶ

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	血液の成分と機能	講義 担当教員 1～5回　陰山 6～11回　松浦 12～14回　堀木
	2	病歴聴取と身体所見、症候とその病態生理	
	3	赤血球の異常、白血球の異常	
	4	造血器腫瘍と治療、骨髄腫および類縁疾患	
	5	出血性疾患(血管異常及び血小板異常、凝固異常)	
	6	内分泌総論	
	7	甲状腺、副甲状腺、副腎皮質、副腎髄質、性腺等	
	8	巨人症、尿崩症、甲状腺亢進・低下症	
	9	糖尿病	
	10	糖尿病合併症、脂質代謝	
	11	メタボリック、高尿酸血症、電解質	
	12	皮膚の構造、生理	
	13	湿疹皮膚炎群、蕁麻疹、天疱瘡	
	14	感染症、悪性腫瘍	
	15	終講試験　まとめ	

評価方法	筆記試験100点（内分泌：松浦50点、血液造血器：陰山30点、皮膚アレルギー：堀木20点）
テキスト	ナーシンググラフィカ EX4「疾患と看護（血液）」　メディカ出版 ナーシンググラフィカ EX8「疾患と看護（内分泌）」　メディカ出版 ナーシンググラフィカ EX4，6　「疾患と看護（アレルギー・皮膚）」メディカ出版
参考図書	
message	この科目は、全身への影響が大きく生命に直結しますが、内部環境の恒常性の維持に関与して難しいという印象があると思います。いずれにしても、解剖生理学が重要ですから既習学習をして臨みましょう。
教員の実務経験	二人が医師としての実務経験を20年以上有し講義にあたっている 一人は看護師および大学教員として20年以上有し講義にあたっている

授業科目	疾病治療論Ⅳ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	河口泰之 前川勇人 栗岡英行 山野志真 好川元彌
			後期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．疾病の原因や成り立ちを理解し、形態による分類や生体の反応について理解する 2．既習の形態機能学と連動させ、運動器・腎泌尿器・生殖器疾患の成因と病態生理、検査・治療について学ぶ

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	運動器症状とその生理	講義 担当教員 1～5回 河口・前川 6～8回　栗岡 9～10回　山野 11～14回　好川
	2	運動器疾患の診察と診断	
	3	骨折、捻挫、打撲、神経損傷	
	4	内因性の運動器疾患(先天性疾患)	
	5	内因性の運動器疾患(骨腫瘍、上肢、脊椎)	
	6	腎・泌尿器の構造と機能、腎不全の病態生理	
	7	急性・慢性腎不全、透析治療、尿検査・腎機能検査	
	8	腎移植、腎疾患各論	
	9	尿路の通過障害と機能障害	
	10	尿路・性器の腫瘍	
	11	女性生殖器の構造と機能	
	12	子宮疾患、卵管・卵巣腫瘍	
	13	婦人科系の悪性腫瘍	
	14	乳房疾患	
	15	終講試験　まとめ	

評価方法	筆記試験100点（運動器：35点、腎泌尿器：栗岡20点、山野35点、女性生殖器：30点）
テキスト	ナーシンググラフィカ EX7「疾患と看護（運動器)」メディカ出版 ナーシンググラフィカ EX8「疾患と看護（腎・泌尿器)」メディカ出版 ナーシンググラフィカ EX9「疾患と看護（女性生殖器)」メディカ出版
参考図書	
message	解剖生理や微生物などの知識が必要です。学習進度も速いのでしっかり復習をして臨みましょう。また、これらの疾患が、その人の生活にどのような影響をもたらすのかを考えて、看護につなげていきましょう。
教員の実務経験	各々が医師としての実務経験を10年以上有し講義にあたっている

授業科目	疾病治療論Ⅴ	年次	1年次 前期 後期	単位 時間	1単位 30時間	担当者	久門正義 山村　匡 小児医師

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．疾病の原因や成り立ちを理解し、形態による分類や生体の反応について理解する 2．既習の形態機能学と連動させ、感覚器疾患及び小児の代表的な疾患の成因と病態生理、検査・治療について学ぶ

授業計画 回数	講義内容	備考
1	外耳・中耳・内耳の解剖生理、疾患、中耳手術	講義 担当教員 1～3回　久門 4～6回　山村 7～14回　福永
2	聴覚・めまい鼻、聴力伝導、検査、治療	
3	咽頭・喉頭・嚥下障害の病態・症状・検査	
4	眼の構造と機能、病態生理、検査	
5	眼科領域における検査、治療	
6	第1章　新生児疾患 第2章　遺伝性疾患・染色体異常	
7	第3章　代謝・内分泌疾患第	
8	第4章　免疫疾患・アレルギー・膠原病	
9	第5章　感染症　第6章　呼吸器疾患	
10	第7章　循環器疾患	
11	第8章　腎・泌尿器疾患	
12	第9章　消化器疾患	
13	第10章　血液・腫瘍疾患 第11章　神経・筋・精神疾患	
14	第12章　外科疾患 第13章　眼疾患	
15	終講試験　まとめ	

評価方法	筆記試験100点（感覚器：久門15点、山村15点、小児疾患：70点）
テキスト	ナーシンググラフィカ　小児看護学③「小児の疾患と看護」　メディカ出版 ナーシンググラフィカ EX6「疾患と看護（眼・耳鼻咽喉）」　メディカ出版
参考図書	
message	既習の解剖生理の学習を基に臨んでください。 感覚器疾患が生活に及ぼす影響を学びましょう。 小児の各疾患の病態・症状・診断・治療などより新しい医療情報を学び、アセスメント能力をつけられるようにしましょう。
教員の実務経験	各々が医師としての実務経験を２０年以上有し講義にあたっている

授業科目	総合医療論	年次	1年次	単位	1単位	担当者	熊谷　江利子
			前期	時間	15時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている
目標	現代の保健・医療・福祉の現状とその問題を理解し、看護師としての役割を理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	1.医療と看護の原点(医療コミュニケーション) チーム医療とマネジメント	講義 グループワーク 個人ワーク 発表
	2	2.医療の歩みと医療観の変遷 医療の歴史を辿る	
	3	3.私たちの生活と医療 生活の中の医療・福祉行政と健康観	
	4	4.科学技術の進歩と現代医療の最前線 医療最前線でのジレンマ	
	5	5.現代医療の新たな課題 インフォームドコンセントの重要性	
	6	6.医療を見つめ直す新しい視点 患者の安全管理とプライマリーケア	
	7	7.保険・医療・介護・福祉の近未来像 地域包括医療システムの中の医師と看護師の役割	
	8	終講試験	

評価方法	筆記試験80点　授業参加度、課題提出20点　　100点満点
テキスト	系統看護学講座「総合医療論」医学書院
参考図書	保健医療福祉に関するニュースをネット、新聞、図書室、教科書などで調べてみよう。
message	教科書中心に医療の理念、医療に対する社会の考え方の変化、医学サンエンスからアートへの流れなどを学び、また認識し現代医療全般について考え、今後目指すべき医療、とくに看護師が何が必要で、何が求められているのか、ともに考えていきましょう。
教員の実務経験	看護師・看護教員としての実務経験を４０年以上有し講義にあたっている

授業科目	公衆衛生	年次	1年次	単位	1単位	担当者	村上　由希
			前期	時間	15時間		

DP	3.保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている 5．地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている
目標	人々を取り巻く環境や疫学・保健統計を学び、健康保持・増進・予防のための保健活動を理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1.	1. 公衆衛生と健康の概念 2. 保健統計・健康の指標	講義
	2.	1. 集団の健康を捉えるための手法－疫学 2. 感染症とその予防対策	
	3.	1. 環境保健（生活の保全と食品の安全） 2. 成人保健と健康増進法	
	4.	1. 地域保健活動と保健行政 2. 母子保健	
	5.	1. 学校保健（子どもの保健） 2. 産業保健（職業生活と保健）	
	6.	1. 高齢者の保健・医療・介護 2. 精神保健福祉（障害者・難病対策）	
	7.	1. 国際保健医療 2. 保健医療福祉の制度と法規　　まとめ	
	8	終講試験	

評価方法	筆記試験　　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ　健康支援と社会保障②「公衆衛生」　　メディカ出版
参考図書	適宜資料配布　　公衆衛生がみえる 2024-2025　　シンプル衛生公衆衛生学
Message	公衆衛生の領域は、様々な仕事（資格）で基本的な理解が求められています。そのため、国家試験で多くの問題が出題され、必須科目としても重要です。本講義では、基礎知識を中心に習得していきます。ごみ収集・生活習慣病対策などの身近な問題から、感染症予防・公害対策などの社会保障の基礎となる分野について学習していきます。公衆衛生学は必須科目として、覚えることが非常に多いので、講義の限られた時間を有効に活用できるように、事前に教科書に目を通し、当日の学習プリントでの予習を行い、授業に臨んでください。
教員の実務経験	実務経験なし

授業科目	社会福祉	年次	1年次	単位	1単位	担当者	吉川　英雄
			前期	時間	30時間		

DP	3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている 5．地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている
目標	1．社会福祉と社会保障について学習し、人々のニーズや社会資源の活用方法を理解する 2．社会福祉における看護師の役割を理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	現代社会と社会福祉・社会保障	講義
	2	暮らしと社会福祉・社会保障①（定義、社会保障制度）	
	3	暮らしと社会福祉・社会保障②（社会福祉と保健）	
	4	福祉の実践、資源の活用	
	5	ライフサイクルと社会福祉①（母子）	
	6	ライフサイクルと社会福祉②（障害者、難病）	
	7	ライフサイクルと社会福祉③（高齢者）	
	8	生活保護	
	9	地域福祉	
	10	社会保障（社会保険）制度①（年金制度）	
	11	社会保障（社会保険）制度②（医療保険制度）	
	12	社会保障（社会保険）制度③（介護保険制度）	
	13	社会保障（社会保険）制度④（雇用保険制度）	
	14	生活と福祉	
	15	終講試験・まとめ	

評価方法	筆記試験　　100点満点
テキスト	ナーシング･グラフィカ健康支援と社会保障③「社会福祉と社会保障」　メディカ出版
参考図書	適宜資料配布
message	日常生活の中で社会保障内容や社会福祉の制度や施策には具体的にどのようなものがあるのか、予備知識をもって講義に臨んでほしいと思います。 社会・福祉に関心を持ってください。
教員の実務経験	社会福祉士として15年以上の実務経験を有し講義にあたっている。

授業科目	関係法規	年次	2年次	単位	1単位	担当者	森本　美佐
			前期	時間	15時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 5．地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている
目標	1．健康な生活を維持するために必要な法規を知り、看護者としての役割と法的責任について学ぶ。 2．看護師として正しく職務を遂行するための根拠となる法規を学ぶ。

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	1. 看護関係法規授業のガイダンス 2. 何故「法律」を学ぶのか 3. 法の概念	講義
	2	1. 看護職の基盤となる法規：保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法について	
	3	1. 看護実践と医療法、医療関係資格法、医療を支える法の関わりについて	
	4	1. 労働関係の法律について 2. 課題について	
	5	課題についてのグループワーク 4章　物・場所の関する法律 5章　支えるシステムに関する法律 6章　政策にかかわる基本法の関連法令 7、8章　インフォームドコンセント、医療過誤事例	グループワーク ジグソー学習
	6	GWまとめ、発表	
	7	GWの発表　関係法規まとめ	
	8	終講試験	

評価方法	筆記試験70%　レポート30%　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ　健康支援と社会保障③「看護をめぐる法と制度」メディカ出版
参考図書	適宜資料配布 系統看護学講座　健康支援と社会保障制度④　看護関係法令　医学書院
Message	法を単に知識として学ぶだけでなく、なぜこのような内容になっているのか、看護との関係はどうなのかについて、日常生活や看護業務での経験、さらにテレビ、新聞、インターネットなどからの情報とも関連づけて学習するようにしてほしい。特にGWでは積極的に参加することの意味について振り返りを行い、授業に臨んでほしい。
教員の実務経験	看護師の実務経験5年、専任教員としての実務経験を35年以上有し講義にあたっている。

授業科目	基礎看護学概論	年次	1年次 35期生	単位 時間	1単位 30時間	担当者	岸　さゆり

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 4．知的好奇心をもって、生涯継続的に学習する能力を身につけている
科目目標	1．看護の概念を学び、保健・医療・福祉における看護の役割と機能について理解する 2．看護の対象である人間を統合的に理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	看護における基本的な概念	講義 グループワーク グループ発表
	2	看護の対象とその理解	
	3	健康と病気におけるウエルネス	
	4	ライフサイクルと健康	
	5	看護実践のための理論的根拠①	
	6	看護実践のための理論的根拠②	
	7	看護における倫理と価値①	
	8	看護における倫理と価値②	
	9	看護ケア（看護援助）の基本的役割／看護過程	
	10	看護における法的側面①	
	11	看護における法的側面②	
	12	保険・医療・福祉システム／看護の展開と継続性	
	13	看護の統合①	
	14	看護の統合②／これからの看護の課題と展望	
	15	試験　まとめ	

評価方法	筆記試験 70%　　レポート・グループワーク・発表 30%　　100 点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ基礎看護学①　看護学概論 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学①　看護学概論
参考図書	城ヶ端初子編：新訂版　実践に生かす看護理論 19　第 2 版,サイオ出版,2018. 湯槇ます 他翻訳：看護覚え書 −看護であること看護でないこと - 第 8 版,現代社,2023. 児玉香津子他訳：看護覚え書 −本当の看護とそうでない看護 - ,日本看護協会出版会,2019. 宮坂道夫他：系統看護学講座 別巻 看護倫理, 医学書院 2024. 厚生労働統計協会：国民衛生の動向・厚生の指標 増刊, 厚生労働統計協会,2026 年 8 月.
message	看護の主要な概念や理論、看護実践における評価の視点などを通し根拠に基づく看護について考えましょう。また看護がもつ社会的機能・役割について理解し、保健・医療・福祉の専門職として人々の健康・生活へどのようにアプローチしていくか考え授業に望みましょう。
教員の実務経験	看護師としての実務経験 9 年、及び専任教員として 30 年以上の実績を積み講義にあたっている。

授業科目	基礎看護学援助論Ⅰ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	杉田　香苗
			前期	時間	30時間		

DP	3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．看護過程とは何かがわかる 2．看護過程の構成要素がわかり、各段階についてその基本的な考え方と実際を学ぶ 3．事例を通して看護展開の実際を学ぶ

	回数	講義内容	備考
授業計画	1	『看護過程』とは	講義 演習 個人ワークとグループワークとを組み合わせて行う
	2	看護過程を展開する際に基盤となる考え方	
	3	アセスメント①～情報収集～	
	4	アセスメント②～情報収集の方法と分析～	
	5	看護問題の明確化 関連図とは	
	6	アセスメント過程から看護診断過程へ	
	7	看護計画の立案	
	8	看護介入計画とは　　実施と実施の条件、評価と評価の手順	
	9	看護記録について グループワーク：情報の整理、分類、不足情報の明確化	
	10	看護診断の妥当性 グループワーク：事例を通してアセスメント、関連図	
	11	グループワーク：事例を通して関連図、全体像の把握	
	12	グループワーク：事例を通して診断リスト、援助計画	
	13	グループワーク発表および討議	
	14		
	15	終講試験とまとめ	

評価方法	筆記試験 50%、レポート 50%　　100 点満点
テキスト	系統看護学講座　専門　基礎看護技術Ⅰ（医学書院） NANDA―Ⅰ看護診断
参考図書	実践に生かす看護理論 19　第 2 版（サイオ出版）
Message	看護過程は、科学的かつ論理的に看護を実践するうえでとても必要な思考です。この思考を学び、どのような看護が必要か考えられるように学びましょう。
教員の実務経験	看護師としての実務経験 9 年、及び専任教員として 15 年以上の実績を積み講義にあたっている。

授業科目	基礎看護学援助論Ⅱ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	看護学科教員
			前期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	1. 対象者の日常生活を整えるために必要な環境･活動･食事･排泄･睡眠･清潔･衣生活に関する基礎的知識･技術･態度が習得できる 2. 看護技術を原理･原則に基づき安全･安楽に実施する方法が習得できる 3. 健康障害、個別性に合わせた日常生活援助を習得できる

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	1．病床環境の調整の基礎知識　　2．病床環境の援助	講義 グループワーク
	2	1．食事援助の基礎知識 2．栄養状態および食欲・摂食能力のアセスメント 3．摂食・嚥下訓練　　4．非経口的栄養摂取の援助	
	3	1．自然排泄の基礎知識	
	4	1．自然排泄の介助　　2．排泄障害時の援助	
	5	1．活動の援助技術・ 睡眠・休息の援助技術	
	6	1．清潔の援助技術	
	7	1．衣生活の援助技術	
	8	事例検討	演習 グループワーク
	9	事例検討	
	10	事例検討	
	11	事例に基づいて援助の実際	
	12		
	13		
	14		
	15	試験	

評価方法	筆記試験 50%、レポート 25%、グループワーク発表 25%　　100 点満点
テキスト	系統看護学講座　専門　基礎看護技術Ⅱ（医学書院）
参考図書	基礎看護技術講義・演習ノート（医学芸術社） 看護ケアの根拠と技術（医歯薬出版株式会社） 基礎看護技術（メディカ出版）　看護技術がみえる①②（メディクメディア） 写真でわかる実習で使える看護技術（インターメディカ）
message	基礎看護技術は看護学の基盤です。そのなかでも、日常生活援助とは人間が健康的に生きていくために必要不可欠な援助技術です。対象者にとって必要な援助とは何かを考え、対象者に応じた援助が提供できるよう、学習を深めていきましょう。
教員の実務経験	看護師として実務経験 15 年以上及び専任教員として 5 年以上の実績を積み講義にあたっている。

授業科目	基礎看護学援助論Ⅲ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	看護学科教員
			後期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 5．地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている
目標	1．看護における学習支援の目的と意義を理解する 2．健康状態の変化に伴う学習支援の特徴を理解する 3．個人、家族、集団を対象とした学習支援の実際を学ぶ

授業計画

回数	講義内容	備考
1	1．看護における学習支援とは 2．学習支援の基本となる考え方	講義
2	1．看護の中に含まれる学習支援 2．学習支援の進め方	
3	1．健康行動理論	
4	1．健康状態の変化に伴う学習支援	
5		
6	1．看護過程（事例）から考える学習支援	グループワーク
7	事例検討①	
8	2．看護過程（事例）から考える学習支援	
9	事例検討②	
10	1．学習支援の教材の作成①②	
11		
12	学習成果確認　発表	
13		
14	学習成果の振り返り 評価	
15	終講試験　　まとめ	

評価方法	筆記試験50%　レポート25%、グループワーク発表25%　　100点満点
テキスト	系統看護学講座　専門　基礎看護技術Ⅰ（医学書院）
参考図書	看護学概論（医学書院）　臨床看護総論(医学書院) 臨床看護総論（メディカ出版）
message	看護師の役割のひとつである学習支援については実際に体験をして学んでいきます。対象の学習のニーズをどう捉えるのか、対象に合わせた学習支援とは、など演習を含め学習していきます。密な内容となりますので、復習と予習を行い講義に臨んで下さい。
教員の実務経験	看護師として実務経験15年以上及び専任教員として5年以上の実績を積み講義にあたっている。

授業科目	基礎看護学援助論Ⅳ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	看護学科教員
			後期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．基本的な看護の知識や技術を統合し、看護実践に応用するプロセスを学ぶ 2．事例患者を通して経過・症状・治療から看護実践を導く科学的根拠がわかる 3．グループワーク・発表を通して学習を共有するすべを身につけ、他者に伝える力をつける

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	1. 臨床看護総論とは 2. 系統別フィジカルアセスメント	講義
	2	3. 主要な症状を示す対象への看護①②　　グループワーク	
	3	・呼吸器障害　・循環器障害　・安楽に関連する症状	グループワーク
	4	3. 主要な症状を示す対象への看護④　・グループワーク発表	
	5	4. 治療・処置を受ける対象への看護① ・化学療法　　・放射線療法	
	6	4. 治療・処置を受ける対象への看護② ・手術療法　　・集中治療	
	7	5. 創傷処置/創傷ケアを受ける人の看護 ・創傷処置　　・褥瘡処置	
	8	6. 健康上のニーズをもつ対象者と家族への看護 ・ライフサイクル　・家族の機能	
	9	7. 健康状態の経過に基づく看護　　・演習のすすめ方、事例紹介	
	10	グループワーク	
	11	・事例検討	
	12		
	13	学習成果確認　発表	演習 グループワーク
	14		
	15	終講試験　　まとめ	

評価方法	筆記試験50%　レポート25%、グループワーク発表25%　　100点満点
テキスト	系統看護学講座　専門　臨床看護総論(医学書院)
参考図書	基礎看護技術（医学書院）　　看護学概論（医学書院） 臨床看護総論（メディカ出版）　臨床外科看護総論（医学書院）
Message	臨床看護総論は、健康障害をもつ対象者の状態に応じた看護を考え、実習直前に実践へとつなげていく能力を育むための授業です。これまでの既習学習と重なる部分も多いので、事前学習・自己学習を積み、グループ学習での学びに貢献できる力も養いましょう。
教員の実務経験	看護師として実務経験15年以上及び専任教員として5年以上の実績を積み講義にあたっている。

授業科目	基礎看護学援助論Ⅴ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	杉田　香苗
			後期	時間	30時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている
目標	1．既習の知識・技術を統合し、対象の個別性に合わせた援助を計画し、安全・安楽に実践できる 2．演習での看護実践を振り返り、自己の看護技術の習得状況、看護実践能力に対する自己の課題を明確にする

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	総合演習オリエンテーション 事例検討	講義 グループワーク
	2	事例検討	個人ワーク、グループワーク
	3	事例検討	
	4	事例検討	
	5	技術練習	
	6	技術練習	
	7	技術練習	
	8	演習 ブリーフィング、デブリーフィング	実習室で講義、演習
	9		
	10	技術試験オリエンテーション	講義、会場設営
	11	技術試験	実習室で技術試験 デブリーフィング
	12		
	13		
	14	リフレクション	面接 課題
	15		

評価方法	技術試験　リフレクションレポート（評価表に基づき評価）100点満点
テキスト	
参考図書	基礎看護技術講義・演習ノート（医学芸術社） 看護ケアの根拠と技術（医歯薬出版株式会社）　基礎看護技術（医学書院） 基礎看護技術（メディカ出版）　看護技術がみえる①②（メディクメディア） 写真でわかる実習で使える看護技術（インターメディカ）
message	既習の知識、技術を活用し、対象の個別性と状況に合わせた安全、安楽な技術が提供できるように、主体的に学習と練習を進めて下さい。主体的にすすめるなかで、自身の傾向や課題を明確にして実習に臨めるようにしていきましょう。
教員の実務経験	看護師として実務経験9年以上及び専任教員として15年以上の実績を積み講義にあたっている。

学校法人栗岡学園　四条畷看護専門学校　　【実務経験のある教員】

授業科目	地域と暮らし	年次	1年次	単位	1単位	担当者	森本　美佐
			前期	時間	15時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている		
目標	1．多様な場で暮らす人、療養する人を理解する 2．その人らしい健康生活を送るための地域組織活動を理解する		
授業計画	回数	講義内容	備考
	1	地域と生活　地域・在宅看護が必要な背景	講義 演習 事例をもとに検討
	2	地域・在宅看護の目的と基本理念	
	3	地域包括ケアシステムについての概要	
	4	地域・在宅ケアを支える制度や社会資源	
	5	地域・在宅療養を支える訪問看護	
	6	地域・在宅看護における安全性の確保	
	7	試験　まとめ	
	8	田原地区を知る（地域行事参加）１１・１２月	
評価方法	筆記試験70%　　レポート・地域参加30%　100点満点		
テキスト	ナーシンググラフィカ　地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア　メディカ出版		
参考図書	ナーシンググラフィカ　地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術　メディカ出版 基礎からわかる地域・在宅看護論　照林社		
message	地域で暮らしている人は、一時的に入院が必要となったとしても治療を終えれば住み慣れた地域に戻ってきます。したがって、病院と地域での看護を分断するのではなく、対象となる人々の暮らす地域をまず理解することから始めましょう。生活の奥深さを感じ取ることが大切です。そして、様々な場で様々な健康状態にある人々のその人らしい生活を支える看護ができるよう学習していきましょう。 「地域・在宅看護論実習Ⅰ」の前に、自分が住んでいる地域についてアセスメントし、実習では四條畷市と比較してみましょう。		
教員の実務経験	看護師として実務経験5年及び専任教員として35年以上の実績を積み講義にあたっている。		

学校法人栗岡学園　四条畷看護専門学校　　【実務経験のある教員】

授業科目	家族看護論	年次	1年次	単位	1単位	担当者	松村あゆみ
			後期	時間	15時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている
目標	1．家族構造や機能を理解し家族看護の特徴や理念を理解する 2．家族看護の対象を理解しその介入方法について理解する 3．家族看護の展開方法について事例をもとに理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	家族看護の構造と機能による家族看護の特徴 家族看護の対象の理解	講義
	2	現在の家族とその課題 家族と世帯・人口動態、超高齢社会と少子社会における家族の特徴、家族の多様性	
	3	家族機能の把握のためのモデルと理論 家族発達理論、家族システム理論	
	4	家族看護過程 家族看護のための情報収集・家族アセスメント・家族看護計画の立案と実践	
	5	地域社会と家族看護 家族看護と多職種連携	
	6	健康段階別家族看護 急性期、慢性期、終末期患者の家族看護	
	7	対象別家族看護 慢性期小児疾患・精神疾患・高齢患者の家族看護	
	8	終講試験	

評価方法	筆記試験　60%　レポート40%　　100点満点
テキスト	系統看護学講座　専門　家族看護学　医学書院
参考図書	家族看護学　南江堂 家族看護を基盤とした在宅看護論　日本看護協会出版会
message	患者や家族の思いや価値観を看護介入に取り入れることは難しいですが、とても大切なことです。この講義を通じて自己の家族観を知り家族への支援や援助の方法を学んでいきましょう。
教員の実務経験	保健師として実務経験5年以上及び専任教員・大学教員として15年以上の実績を積み講義にあたっている。

授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅰ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	高山雅子
			後期	時間	30時間		

DP	3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている 5．地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている
目標	1．様々な事例展開を通して在宅看護の特徴が理解できる 2．地域・在宅看護にて重要な健康課題を理解し、対象者の状態に応じた根拠に基づく看護援助の方法と各健康課題からみたケアシステムの基本を理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	脳梗塞事例において、在宅療養移行期、安定期、 急性増悪期の特徴を理解し、必要な看護援助と社会資源を学ぶ.	講義
	2	肺炎事例	
	3	精髄損傷事例	
	4	パーキンソン事例	
	5	小児事例	
	6	認知症事例	
	7	認知症、虐待事例	
	8	精神疾患事例	
	9	老々介護事例	
	10	糖尿病事例	
	11	ALS難病事例	
	12	ターミナル事例	
	13	地域包括支援ケアシステムを考える	
	14	認定看護　在宅緩和ケア	
	15	終講試験　　まとめ	

評価方法	筆記試験　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ　地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア　　メディカ出版 適宜資料配布
参考図書	系統看護学講座　地域・在宅看護論　医学書院
message	在宅看護は対象と家族の尊厳のある生活を支えるケアです。プライバシーを守ることや、あらゆることの意思決定を尊重すること、観察と判断力など看護師のより高い資質が求められています。人間理解の学習を振り返ったうえで授業に臨んでほしい。
教員の実務経験	看護師実務経験20年以上、内訪問看護ステーションで15年以上勤務。訪問看護認定看護師教育課程を修了し講義にあたっている。

授業科目	地域・在宅看護援助論Ⅱ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	中島　あゆみ 看護学科教員
			後期	時間	30時間		

DP	3.　保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている 5.　地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている
科目目標	1.　地域・在宅看護実践特有の生活と健康を支える援助技術を理解する 2.　療養する対象のアセスメントを基に、在宅における食事、排泄、清潔、移乗・移動に関する生活支援技術と医療ケア技術を理解する 3.　地域に暮らすあらゆる健康レベルにある人々に必要とされる看護に結び付くヘルスアセスメント技術を理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	在宅看護技術　家庭訪問の特徴と実際	講義 演習
	2	食生活の援助　とろみ食、サンプル食品の活用	
	3	清潔の支援　　移動の支援	
	4	フットケア　　呼吸リハビリについて	
	5	HOT、在宅人工呼吸器について	
	6	在宅の褥瘡管理について	
	7	排泄支援について　ストーマ管理、膀胱留置カテーテルの管理	
	8	経管栄養について　　在宅輸液療法について	
	9	在宅ターミナルの疼痛管理について	
	10	ヘルスアセスメントの概要　目的、背景	
	11	ヘルスアセスメントの枠組み　観察技術とポイント	
	12	在宅でのヘルスアセスメント①　「呼吸」「循環」	
	13	在宅でのヘルスアセスメント②　「移動」「食事」	
	14	在宅でのヘルスアセスメント③　「排泄」「清潔」	
	15	終講試験　まとめ	

評価方法	生活を支える援助技術：60点（筆記試験100%）、 ヘルスアセスメント：　40点（筆記試験100%）　合計100点
テキスト	ナーシンググラフィカ　地域・在宅看護論② 地域・在宅療養を支える技術　メディカ出版
参考図書	系統看護学講座　地域・在宅看護論　医学書院　　適宜資料配布
message	病いや障害とともに在宅で暮らす人々を支える意義、奥深さを学んでください。ヘルスアセスメントでは、対象者がどのような健康状態にあるのかを情報収集し、看護としての介入が必要か否かをアセスメントする技術を学びます。本科目の学習は地域・在宅看護学実習Ⅱに直結します。常に実習実践とのつながりを意識し、積極的に学んでいきましょう。
教員の実務経験	1名は看護師及び専任教員として30年以上の実績を積み、1名は看護師としての実務経験30年以上の実績がある。

授業科目	地域・在宅療養を支える看護	年次	1年次	単位	1単位	担当者	森本　美佐 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士
			後期	時間	15時間		

DP	3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている 5．地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている
目標	1．地域における多職種連携の必要性が理解できる 2．関連職種の特性・機能が理解できる 3．関連職種間の連携協働、支援の在り方を考えることができる

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	保健医療チームにおける看護の機能と役割	講義 担当教員 1，5回　看護教員 2回　　理学教員 3回　　作業教員 4回　　言語聴覚士 *6回　リハ合同ワーク* 7，8回　看護教員
	2	保健医療チームにおける理学療法士の役割と機能	
	3	保健医療チームにおける作業療法士の役割と機能	
	4	保健医療チームにおける言語聴覚士の役割と機能	
	5	試験　ワーク準備	
	6	提示された事例について生活する当事者の視点で検討 ***地域医療における共通目標と各職種の専門性の活かし方、連携の在り方　（リハ校にてワーク）***	
	7	提示された事例について多職種連携の視点で課題の分析	
	8	事例検討発表　まとめ	

評価方法	筆記試験：合同試験　60% 課題発表内容（グループ）とレポートをルーブリック評価表を基に採点　40% 100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ　地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア　メディカ出版
参考図書	適宜資料配布
message	授業はオムニバス形式で進めます。 ***奈良リハビリテーション専門学校の学生と合同ワークも行います。*** 多職種連携の在り方を学び、実践につなげていける枠組みやモデルがイメージできるように取り組んでください。
教員の実務経験	3人は各々看護師、理学療法師、作業療法士及び教員として10年以上の経験を有し講義にあたっている。 1人は言語聴覚士として5年以上の経験を有し講義にあたっている。

授業科目	成人看護学概論	年次	1年次	単位	1単位	担当者	嶋田　もとみ
			前期	時間	30時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている 5．地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている
目標	1．成人期にある対象を生活者として捉え、成人の特徴について理解する 2．成人の健康問題・成人保健の動向を知り、看護師の役割を理解する 3．成人看護学で用いられる代表的な看護理論を活用した看護アプローチを理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	成人と生活 発達段階、家族や社会の役割と特徴	
	2	成人の生活習慣と健康問題	
	3	成人の職業と健康問題	
	4	GW:ライフワークバランスを考える	
	5	事例から学ぶヘルスプロモーション 成人看護学に関連する理論	
	6	成人の学習の特徴とアンドラゴジーモデル	
	7	生きているを支える看護 フィンクの危機モデルと介入	
	8	障害とともに暮らす看護 セルフケア看護理論	
	9	病とともに暮らす看護 病みの軌跡　健康信念モデル　行動変容ステージモデル	
	10	その人らしく生きるを支える看護　DVD：マイライフ	
	11	事例で学ぶロイ適応看護モデル	
	12～14	成人の健康について考える①　演習	
	15	終講試験　まとめ	

評価方法	筆記試験　100%
テキスト	ナーシング・グラフィカ　成人看護学①成人看護学概論　メディカ出版
参考図書	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学①　医学書院 国民衛生の動向　厚生労働統計協会
message	成人期は青年期、壮年期、向老期があり、それぞれに特徴的な成長発達を遂げます。人生において最も長く、地域、職場、家庭の役割を担う時期です。そのような成人期の人々の生活と健康問題を関連させて対象を全人的に理解する学習をします。
教員の実務経験	看護師として実務経験20年以上及び専任教員として10年以上の実績を積み講義にあたっている。

授業科目	成人看護学援助論Ⅰ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	嶋田　もとみ
			後期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を習得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心を持って、生涯継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．急性期疾患における代表的な疾患の検査や治療法の具体的な援助方法について理解できる。 2．急性期の成人の生きているを支える看護を理解する 3．急性期の経過をたどる成人を支えるためのアセスメントに生かす臨床推論技術を理解する。

	回数	講義内。	備考
授業計画	1	冠動脈疾患の事例から学ぶ周手術期看護 1）循環器・呼吸器の症状別看護　フィジカルアセスメント	講義 演習 グループワーク
	2	2）術前看護：検査時の看護　心電図　運動負荷試験　心臓カテーテル検査	
	3	3）術中：血行動態モニタリング　動脈血ガス分析　補助人工心肺	
	4	4）術後：人工呼吸器　ドレーン管理　救命処置	
	5	5）回復期：心臓リハビリテーション 心不全の経過と看護：経過別看護　退院支援	
	6～9	呼吸器疾患の事例から学ぶ看護の実際 1）看護計画	
	10～14	胃癌・胃切除術の事例から学ぶ 1）消化器の症状別看護 2）消化器の検査・治療（上部・下部消化感内視鏡　X線透視 3）手術療法時の看護（腹腔鏡下、開腹術） 4）ドレーン管理 5）術後の社会復帰を支える援助	
	15	終講試験　まとめ	

評価方法	筆記試験100％
テキスト	ナーシング・グラフィカEX　疾病と看護①呼吸器②循環器③消化器　メディカ出版
参考図書	系統看護学講座　専門　成人看護学（3）（5）（6）医学書院 病気がみえる（メディクメディア）　ハートナーシング（メディカ出版）
message	生命の危機的状態にある対象とその家族に焦点をあて、生命の維持、苦痛の緩和、セルフケア能力の回復に向けた援助方法を学びます。
教員の実務経験	看護師として実務経験20年以上及び専任教員として10年以上の実績を積み講義にあたっている。

授業科目	成人看護学援助論Ⅱ	年次	1年次 後期	単位 時間	1単位 30時間	担当者	看護学科教員 陣内　里江

DP	2. 幅広い知識と看護に求められる専門的技術を習得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4. 知的好奇心を持って、生涯継続的に学習する能力を身につけている
目標	1. 慢性疾患における代表的な疾患の治療法や検査の具体的な援助方法について理解できる 2. 病とともに暮らす人がその人らしく暮らすためにセルフマネジメント能力を高める具体的方法が理解できる

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	内分泌・代謝機能障害をもつ成人の看護 1） 現代社会における内分泌・代謝疾患と看護 2) 解剖生理と内分泌疾患の特徴	講義 演習 グループワーク
	2	バセドウ病の患者の事例から学ぶ内分泌疾患の看護	
	3	2） 糖尿病患者の事例から学ぶ看護 食事療法　運動療法　薬物療法を支える援助	担当教員 1~6回　　教員 7～１０回　陣内 １１~１４回　教員
	4～5	GW：生活習慣の変容を促進する援助	
	6	発表：生活習慣の変容を促進する援助	
	7～8	慢性腎不全で透析療法を受ける患者の看護	
	9～10	泌尿器の疾患と看護 1）前立腺肥大　2）尿路変更術　ウロストミーケア	
	11	造血機能障害のある患者の看護 1）貧血のある患者の看護	
	12	2）白血球減少症・血小板減少症のある患者の看護	
	13	3）造血器の腫瘍患者の看護	
	14	4）長期闘病への支援	
	15	終講試験　まとめ	

評価方法	腎泌尿器：30点（筆記試験100%） 造血器30点（筆記試験100%）　内分泌・代謝４０点（筆記試験100%） 計100点満点
テキスト	ナーシング・グラフィカEX　疾病と看護④⑧メディカ出版
参考図書	系統看護学講座　専門　成人看護学（3）（5）（6）医学書院 病気がみえる（メディクメディア）
message	慢性的な健康障害を有する人は生活上の困難や障害と共に生活しています。生活の質を維持・向上できる援助が求められます。患者が自ら病気の増悪を予防でき、その人らしく健康な生活を営むためのセルフケア能力の獲得への援助を学習します。
教員の実務経験	1人は看護師として実務経験15年以上及び専任教員として15年以上の実績を積み講義にあたっている。 1人は看護師としての実務経験30年以上の実績がある。

学校法人栗岡学園　四条畷看護専門学校　　【実務経験のある教員】

授業科目	老年看護学概論	年次	1年次	単位	1単位	担当者	大庭　未央
			前期	時間	30時間		

DP	1.　人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 3.　保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている 5.　地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている
目標	１．老年期の特徴を身体的、心理・社会的視点から説明できる ２．高齢者の加齢変化や生活機能の変化を理解し、生活への影響を説明できる ３．高齢者の背景と社会生活を関連づけ、生涯発達の視点から自己の老年観を養う

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	高齢者の理解①　『老いる』とは	講義 ワークシート
	2	高齢者の理解②　高齢者の健康とＱＯＬ	
	3	高齢者の理解③　加齢に伴う変化	
	4	高齢者の理解④　加齢に伴う変化	
	5	高齢者を取り巻く社会①　高齢者と家族、社会制度・社会資源	
	6	高齢者を取り巻く社会②　高齢者看護における倫理	
	7	高齢者看護の基本①　高齢者看護の特性と諸理論	
	8	高齢者看護の基本②　高齢者のフィジカルアセスメント、老年疾患	
	9	高齢者看護の基本③　高齢者によくみられる疾患と薬物療法	
	10	高齢者看護の基本④　高齢者看護におけるチームアプローチ	
	11	高齢者看護の基本⑤　高齢者のリスクマネジメント、災害	グループワーク
	12	生活を支える看護①②③ コミュニケーション、食生活、セクシュアリティ 高齢者の住まい、社会参加 高齢者の理解①　『老いる』とは	
	13		
	14		
	15	高齢者の理解②　高齢者の健康とＱＯＬ	

評価方法	筆記試験90%　グループワークレポート課題10%　100点満点
テキスト	ナーシング・グラフィカ　老年看護学①　高齢者の健康と障害　メディカ出版
参考図書	国民衛生の動向　厚生労働統計協会
message	生きている限り老いることから逃れられません。超高齢社会となったこの国の国民の一人としてまた看護師として、老いるとは、老いを生きるとはという問いを中心に老年期を理解する時間にしましょう。日常の中でも高齢者に着目して、生きる力や姿勢、唯一無二の背景についても思いを馳せ、互いに未知の老年期への理解を深めていきましょう。
教員の実務経験	看護師として実務経験25年以上及び専任教員として10年以上の実績を積み講義に当たっている。

授業科目	老年看護学援助論Ⅰ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	下村　奈々枝 小宮　欣恵 福間　博美 長田　美鈴
			後期	時間	30時間		

DP	2.　幅広い知識と看護に求められる専門的技術を習得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 5.　地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている
目標	1．加齢による変化とセルフケア支援について理解する 2．健康問題のある高齢者と家族に対する看護実践のプロセスと適応される諸技術の原則を理解する 3．健康逸脱からの回復を促す看護を理解する 4．高齢者の終末期看護がわかる

授業計画 回数	講義内容	備考
1	老年期の生活機能を整える看護①食生活を支える看護	講義
2	②排泄を支える看護	
3	③清潔・衣生活を支える看護	
4	④活動と休息を支える看護	
5	⑤歩行・移動を支える看護	
6	⑥呼吸・循環機能の障害を支える看護	
7	⑦特徴的な疾患・症状を支える看護	
8	健康逸脱からの回復を促す看護	
9	認知症、うつ病、せん妄のある高齢者の看護	
10	エンドオブライフケア	
11	高齢者の死と終末期ケア	
12	地域包括システムと多様な生活の場における看護	
13	健康逸脱から回復を促す看護①症候のアセスメントと看護	
14	②身体疾患のある高齢者の看護	
15	治療を受ける高齢者の看護	

評価方法	筆記試験　下村、小宮、福間：70%　長田：30%　合計100点
テキスト	ナーシング・グラフィカ　老年看護学①　高齢者の健康と障害　メディカ出版
参考図書	ナーシング・グラフィカ　老年看護学②　高齢者看護の実践　メディカ出版
message	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院
教員の実務経験	各々、看護師として20年以上の経験を有し講義にあたっている

授業科目	老年看護学援助論Ⅱ	年次	1年次 後期	単位 時間	1単位 20時間	担当者	大庭　未央 梅田　達成 勝村　智加 鈴木　尊代

DP	3. 保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている 4. 知的好奇心を持って、生涯継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．骨折や脳血管障害を起こした高齢者の回復過程に必要なアセスメント項目が説明できる 2．高齢者の転倒転落、誤嚥リスクとその看護を理解する 3．自立した生活を維持するための具体的な方法を理解できる 4．高齢者にとってのリハビリテーションの意義を理解できる

授業計画

回数	講義内容	備考
1	加齢による運動機能障害 骨折と骨粗鬆症の予防と対策	講義 演習 グループワーク
2	運動機能障害がある高齢者の看護	
3	高齢者の脳卒中のアセスメントとケア	
4	高次脳機能障害への看護と評価	
5	リハビリテーションとは	
6	杖、松葉杖、車いすの使用方法	
7	摂食嚥下障害リハビリテーション	
8	レクリエーションとは	
9	レクリエーションの考え方・発表	
10	終講試験　まとめ	

評価方法	筆記試験：看護 50%（ミニテスト含む）50 点、 リハビリ・レクリエーション：理学 20%、作業 20%、言語聴覚士 10% 合計 100 点
テキスト	ナーシング・グラフィカ　老年看護学①　高齢者の健康と障害　メディカ出版 ナーシング・グラフィカ　老年看護学②　高齢者看護の実践　メディカ出版 ナーシング・グラフィカ　疾患と看護⑤　脳・神経　メディカ出版 ナーシング・グラフィカ　疾患と看護⑦　運動器　メディカ出版
参考図書	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学　医学書院
message	基礎看護学実習、領域実習に向けて高齢者の代表的な疾患と ADL 向上に向けての看護を考えましょう。 高齢者にとってのリハビリテーションとレクリエーションのもつ意味を考えましょう。
教員の実務経験	看護師、教員として 30 年以上の経験を有し講義にあたっている。 理学療法師、作業療法師及び教員として 10 年以上の経験を有し講義にあたっている。 言語聴覚士として 8 年の経験がある。

授業科目	小児看護学概論	年次	1年次	単位	1単位	担当者	小川　里予
			前期	時間	30時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている
目標	1．小児の成長・発達を理解し、小児看護の基本的な考え方、および命の尊厳について理解する 2．小児とその家族を取り巻く環境の意義と及ぼす影響を理解する 3．小児保健統計をふまえ、小児を保護する法律や保健対策を理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	小児看護の歴史と意義	講義
	2	小児看護と法律・施策①	
	3	小児看護と法律・施策②	
	4	子どもの権利と看護	
	5	小児看護で用いられる理論	
	6	成長・発達の原則	
	7	発育の評価	
	8	新生児期	
	9	乳児期	
	10	幼児期	
	11	学童期	
	12	思春期	
	13	災害を受けた子どもと家族への看護	
	14	虐待を受けている可能性のある子どもと家族への看護	
	15	終講試験	

評価方法	筆記試験　100点
テキスト	ナーシンググラフィカ小児看護学①「小児の発達と看護」　メディカ出版
参考図書	パーフェクト臨床実習ガイド　小児看護 国民衛生の動向　厚生労働統計協会
message	少子高齢化の現代では、子どもと触れる機会も減少傾向にあります。小児病棟の閉鎖も耳にすることと思います。しかし、その一方で育児不安を抱える母親も多く、病院へのニーズも高まっています。人が必ず通ってきた道である子どもを理解することで、社会や看護について考えていただけたらと思っています。
教員の実務経験	看護師として実務経験15年以上及び専任教員として15年以上の実績を積み講義にあたっている。

学校法人栗岡学園　四条畷看護専門学校　　【実務経験のある教員】

授業科目	小児看護学援助論Ⅰ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	熊谷　江利子
			後期	時間	30時間		田中　由美子

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身に付けている 4．知的好奇心をもって、生涯継続的に学習する能力をつけている
目標	1．健康障害が小児とその家族に及ぼす影響と反応を発達段階に応じて理解する 2．小児に出現しやすい疾病・症状を知りその看護を理解する 3．小児看護に必要な看護技術を身につける

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	援助関係を形成する技術	講義
	2	安心・安全な環境を調整する技術	
	3	日常生活の援助技術 ～食事・排泄・清潔・呼吸と循環・与薬～	1~11回：熊谷 12~14回：田中
	4		
	5		
	6	救急救命の技術	
	7	症状・生体機能の管理技術 ～バイタルサイン・身体計測・検体採取・検査～	演習
	8		
	9	安全・安楽を確保する技術	
	10	健康障害を持つ子ども・家族への看護 1.健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響 2.急性期・慢性期・終末期にある子どもと家族への看護 3.検査や処置、手術を受ける子どもと家族への看護 4.集中治療室、ハイリスク新生児、心身障がいのある子ども 5.外来における子どもと家族への看護	
	11		
	12		
	13		
	14		
	15	終講試験　まとめ	

評価方法	筆記試験100点
テキスト	ナーシンググラフィカ小児看護学②「小児看護技術」メディカ出版
参考図書	
message	病気や障害に対して子どもとその家族が示す反応について、健康問題や発達段階にある特徴から必要とされる看護について考えていきましょう。
教員の実務経験	1人は看護師として実務経験を30年以上有し、講義にあたっている。 1人は看護師・看護教員としての実務経験を４０年以上有し講義にあたっている。

授業科目	小児看護学援助論Ⅱ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	田島　茂恵
			後期	時間	20時間		吉田　広美

DP	3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている 5．地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている
目標	1．障害のある子どもとその家族について理解する 2．小児在宅ケアの現状を理解し、在宅療養を行う児と家族への看護援助について理解する

	回数	講義内容	備考
授業計画	1	小児在宅医療の意義	講義
	2	小児在宅ケアの現状①	
	3	小児在宅ケアの現状②	
	4	在宅療養を必要とする子どもと家族の特徴	
	5	在宅療養を行う子どもと家族への看護	
	6	在宅療養の継続における看護	
	7	先天的な健康問題をもつ子どもとその家族への看護	
	8	心身障がいのある子どもと家族への看護	
	9	終講試験	
	10	放課後等デイサービスの特徴	放課後等デイ施設長の講義含む

評価方法	筆記試験100点
テキスト	ナーシンググラフィカ小児看護学①「小児の発達と看護」メディカ出版 ナーシンググラフィカ小児看護学③「小児の疾患と看護」メディカ出版
参考図書	
message	心身障がいのある子どもと家族、また小児在宅ケアの現状を理解することで看護援助を学び、事例を通してアセスメント能力をつけられるようにしましょう。
教員の実務経験	保健師・看護師として実務経験を１５年以上有し、講義にあたっている。

授業科目	母性看護学概論	年次	1年次	単位	1単位	担当者	竹本　可予
			前期	時間	30時間		

ＤＰ	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 5．地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている
目標	1．母性看護学の概念を理解し、ライフステージ各期の健康課題を学び、その援助について理解する 2．母性看護の変遷と現状を学び、母性看護の課題と展望について考える 3．セクシュアリティの発達を学び、多様な性のあり方と健康への支援について理解する 4．生命倫理を学び、生命の尊厳についての考えを深める

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	母性看護学の基礎となる概念と役割（親性・育児性）	講義 演習 グループワーク 母子健康手帳の使用
	2	母親の適応過程と母子相互作用（愛着や絆）	
	3	家族の発達と機能	
	4	セクシュアリティの発達と課題（多様な性のあり方）	
	5	リプロダクティブヘルス/ライツ ヘルスプロモーション（女性の意思決定を支える）	
	6	受胎のメカニズムと神秘生殖医療と生命倫理 （生命の尊厳について考える）	
	7	母性看護の歴史的変遷	
	8	母性保健統計及び施策に関する法律 母子を取りまく環境と外国人の母子保健	
	9	女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化	
	10	ライフサイクル各期の特徴と看護（思春期・成熟期・更年期・老年期）	
	11		
	12	リプロダクティブヘルスケア（家族計画・受胎調節法・人工妊娠中絶）	
	13	性感染症とその予防・ドメスティックバイオレンス	
	14	地域における母性看護の役割と社会資源 育児支援マップの作成	
	15	終講試験　まとめ	

評価方法	筆記試験　80%　　レポート　20%　　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ母性看護学①「概論・リプロダクティブヘルスと看護」　メディカ出版
参考図書	適宜資料配布　医学書院　　母性看護学（1）　母性看護学概論
Message	母性看護学は自身やパートナー・家族への関わりとも関連するので、身近なものと捉え、母児に応じた看護を一緒に考えていきましょう。
教員の実務経験	看護師・助産師として実務経験15年以上及び専任教員として10年以上の実績を積み講義にあたっている。

授業科目	母性看護学援助論Ⅰ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	中村　乃利子
			前期	時間	30時間		

ＤＰ	２．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身に付けている ４．知的好奇心をもって、生涯継続的に学習する能力をつけている
目標	正常に経過する妊婦、産　婦、褥婦および新生児の理解と、それらを支える看護を理解する

授業計画 回数	講義内容	備考
1	子どもを産み育てることと看護を学ぶにあたって	講義
2	妊娠期における看護 妊娠期の身体的特性、妊娠期の心理的・社会的特性	
3	妊婦と胎児のアセスメント 妊娠期の検査、健康状態の評価	
4	マイナートラブル、日常生活について	
5	妊婦と家族の看護　親になるための準備教育不妊治療 レオポルド触診法	
6	分娩の要素　胎児心拍モニター	
7	分娩の経過　産婦、胎児、家族のアセスメント	
8	産婦と家族の看護	
9	新生児期の看護　新生児の生理　子宮外適応生活	
10	新生児期の看護　出生直後～退院まで	
11	産褥期の看護　産褥経過、褥婦のアセスメント	
12	褥婦と家族の看護	
13	演習：沐浴、妊婦体験、	演習
14	新生児の身体測定、新生児のバイタルサイン測定	
15	終講試験・まとめ	

評価方法	筆記試験　　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ母性看護学②「母性看護の実践」　メディカ出版 ナーシンググラフィカ母性看護学③「母性看護技術」　　メディカ出版
参考図書	適宜資料配布あり １）森恵美：母性看護学（２）母性看護学各論，医学書院，2019. ２）北川眞理子・谷口千絵編：看護実践のための根拠がわかる母性看護技術，メジカルフレンド社，2018.
message	実習に活かせるために、根拠を理解して技術を習得しましょう。 演習により、技術の習得を確実にして下さい。
教員の実務経験	看護師及び助産師として5年、教員として実務経験を30年以上有し講義にあたっている

授業科目	母性看護学援助論Ⅱ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	竹本　可予
			後期	時間	20時間		

ＤＰ	２．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身に付けている ４．知的好奇心をもって、生涯継続的に学習する能力をつけている
目標	妊娠・分娩・産褥経過中にみられる異常、妊産褥婦および胎児・新生児におこる異常について理解し、健康状態のアセスメントと看護について学ぶ

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	妊娠の異常と看護 ハイリスク妊娠、感染症、妊娠疾患	講義
	2	多胎妊娠　異所性妊娠　妊娠持続期間の異常	
	3	胎児と付属物の異常（妊娠期） 分娩の異常　産道・娩出力の異常	
	4	胎児と付属物の異常（分娩期）　胎児機能不全	
	5	異常分娩時の産婦の看護（分娩第3期および分娩直後の異常 異常出血　分娩時の損傷　異常出血時の看護）	
	6	産科処置と手術　胎盤娩出の異常	
	7	新生児の異常と看護（新生児仮死と呼吸障害　低出生体重児 分娩外傷　高ビリルビン血症　ビタミンＫ欠乏症）	
	8	産褥の異常と看護　子宮復古不全　産褥期の発熱	
	9	乳房トラブル　精神障害　産褥期のアセスメント	
	10	終講試験・まとめ	

評価方法	筆記試験　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ　母性看護学①「概論・リプロダクティブと看護」メディカ出版 ナーシンググラフィカ　母性看護学②「母性看護の実践」　メディカ出版 ナーシンググラフィカ　母性看護学③「母性看護技術」　メディカ出版
参考図書	適宜資料配布 １）森恵美：母性看護学（１）母性看護学概論，医学書院. ２）森恵美：母性看護学（２）母性看護学各論，医学書院
message	母性看護学の正常を踏まえて、異常を理解するように学習を進めていきましょう。
教員の実務経験	看護師・助産師として実務経験15年以上及び専任教員として10年以上の実績を積み講義にあたっている。

授業科目	精神看護学概論	年次	1年次	単位	1単位	担当者	精神科看護師
			前期	時間	30時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている
目標	1．人間のこころの発達と働きをふまえたこころの健康維持・増進過程の看護師の役割について理解する 2．こころに健康問題をもつ人との地域での共生社会のあり方について理解する 3．精神保健福祉の歴史的変遷と法制度、今後の課題について理解する

授業計画 回数	講義内容	備考
1	精神看護学を学ぶ前に	講義 演習
2	精神障害の体験	
3	精神障害についての基本的な考え方	
4	人間のこころと行動	
5	人格の発達と情緒体験	
6	ライフサイクル上のメンタルヘルス	
7	現代社会とこころ	
8	家族とその支援	
9	DVD鑑賞	
10	4つの視点からの感想とディスカッション	
11	精神医療の歴史と看護	
12	ストレスマネジメントと精神科における看護師の役割	
13	ストレングスマッピングシート演習	
14	精神看護の振り返りと自己の学びの成長	
15	終講試験	

評価方法	筆記試験70%　レポート30%　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ　精神看護学①「情緒発達と精神看護の基本」メディカ出版
参考図書	萱間真実：ストレングスモデル実践活用術　医学書院 武井麻子：精神看護学ノート　医学書院 田中美恵子編：精神看護学～学生―患者のストーリーで綴る実習展開　医師薬出版
message	精神看護学はこころの健康問題や病を持った人が回復を体験し、その人らしさを取り戻して生活していくことを看護職として支援する方法を考え実践する分野です。 うつ病や統合失調症といったこころに病気を抱えた人は現在、日本でも増え続けています。こころの病気は社会にとって、喫緊の問題の1つと言えます。このような背景を踏まえ看護が担う役割も重要です。
教員の実務経験	看護師及び教員として実務経験を25年以上有し講義にあたっている

授業科目	精神看護学援助論Ⅰ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	小谷　美紀
			前期	時間	20時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身に付けている 4．知的好奇心をもって、生涯継続的に学習する能力をつけている
目標	精神障害の病態と症状、診断、治療について理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	1．精神症状について 1)思考の障害　　2)感情の障害 3)意欲の障害　　4)知覚の障害 5)意識の障害　　6)記憶の障害 7)局在症状	講義
	2		
	3		
	4	2．精神障害の診断と分類 1)統合失調症	
	5	2）気分障害	
	6	3）神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害、生理的障害、身体要因に関連した行動症候群	
	7	4）パーソナリティ障害 5）精神作用物質使用による精神および行動の障害	
	8	6）てんかん 7）発達障害	
	9	8）認知症	
	10	終講試験　まとめ	

評価方法	筆記試験　100点
テキスト	ナーシンググラフィカ精神看護学①「情緒発達と精神看護の基本」メディカ出版 ナーシンググラフィカ精神看護学②「精神障害と看護の実践」メディカ出版
参考図書	適宜資料を配布する
message	事前学習として予習をして授業に臨むこと 病気の本質を知り、病気を理解していきましょう。
教員の実務経験	看護師及び教員として実務経験を25年以上有し講義にあたっている

授業科目	精神看護学援助論Ⅱ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	小谷　美紀 桑島　　勉 清重　朋子
			後期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身に付けている 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている
目標	1．患者―看護師関係における自己理解の必要性と治療的関係について理解する 2．精神障害をもつ人への日常生活の援助について理解する 3．精神障害をもつ人が地域で生活するための多職種の役割と実際を理解する 4．事例を通して看護の実際を理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	精神看護における対象の理解	講義
	2	1)治療の場の人間関係　2)プロセスレコードの活用	
	3	精神看護におけるケアの方法	
	4	1)「治療的関わり」の考え方　2)日常生活行動の援助	
	5	3)服薬治療に関わる援助	
	6	入院環境と治療的アプローチ	
	7	1)治療の場としての精神科病棟　2)治療環境を整える 3)安全な療養環境とは　①さまざまな制限 ②災害時の対応	
	8	精神科リハビリテーション	
	9	1)精神科リハビリテーションの考え方	
	10	2)地域精神保健活動における社会資源の活用 3)在宅医療との連携と地域での看護	
	11	救急医療現場における患者支援と精神的関わり 1)自殺企図により救急搬送される患者 2)急性薬物中毒で救急搬送される患者	
	12	事例に学ぶ看護の実際	
	13	1)統合失調症急性期患者の看護	
	14	2)統合失調症慢性期患者の看護　3)うつ病患者の看護	
	15	終講試験	

評価方法	筆記試験　100点満点　（看護師80点、桑島10点、中川10点）
テキスト	ナーシンググラフィカ　精神看護学②「精神障害と看護の実践」メディカ出版
参考図書	適宜資料を配布する
Message	患者理解とこころのケアの大切さを理解するために、看護現場のリアリティを伝えられるよう、コ・メディカルそれぞれの立場から教授します。概論や援助論Ⅰで習ったことを振り返り授業に臨んでください。
教員の実務経験	看護師及び教員として実務経験を25年以上有し講義にあたっている。 作業療法・精神保健福祉士として10年以上の実務経験を有し講義にあたっている。

授業科目	看護の統合と実践Ⅰ	年次	1年次 後期	単位 時間	1単位 15時間	担当	看護学科教員

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている
目標	1．医療事故に伴う看護師の法的責任について理解する 2．医療事故の発生要因とヒューマンエラーの考え方を活かした事故防止策について理解する 3．演習を通してセルフモニタリングを働かせ、リスク感性を養う

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	1，医療安全と看護の理念 1.医療安全の意味と重要性　2.看護職の法的規定と医療安全	講義
	2	2，医療安全への取り組みと医療の質の評価 1.国の医療安全への取り組みと動向　2.医療事故の定義と分類 3.医療事故への対応　4.被害者家族に寄り添ったケア　5.医療の質の評価 3、事故発生のメカニズムとリスクマネジメント 1.事故のメカニズム　2.事故分析　3.事故対策	
	3	4，チームで取り組む安全文化の醸成　1.チームSTEPPS　代表的なツール	
	4	5，看護に関連する事故と安全対策 1.看護業務と事故発生要因　2.誤薬と与薬事故　3.患者取り違え 4.針刺し　5.転倒転落　6.誤嚥	
	5	6，在宅看護における医療事故と安全対策 在宅看護における医療事故とその対応 7，医療従事者の安全を脅かすリスクと対策	
	6	＊危険予知トレーニング演習　　1．KYT基礎4ラウンド法	
	7	8，看護学生の実習と安全 1．実習における事故の法的責任と補償 2．実習中の事故予防および事故発生時の学生の対応	演習
	8	終講試験	

評価方法	筆記試験80%　提出物20%　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ　看護の統合と実践②「医療安全」　メディカ出版
参考図書	川村治子　医療安全ワークブック医学書院　杉山良子　危険予知トレーニング　メディカ　系統看護学講座 統合分野　医療安全　医学書院
message	この学習を通して皆さんのリスク感性が高められ、質の高い看護が提供できるよう個々の責任において自己研鑽を行うスキルをもつことができるようになればいいと思っています
教員の実務経験	看護師として実務経験30年以上及び専任教員として5年以上の実績を積み講義にあたっている。

授業科目	看護の統合と実践Ⅱ	年次	2年次	単位	1単位	担当者	松浦　純平 井上　博 有村　由美子 西浦　聡子
			前期	時間	30時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている
目標	1．災害看護の基礎的な知識や看護の実際を理解する 2．人的資源、物的資源、財的資源を活用・維持できるマネジメントを理解する 3．生命倫理・医療倫理から派生した看護倫理と法および諸制度を理解する 4．組織や医療安全、チーム医療についてのマネジメントを理解する

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	災害の基礎知識	講義 演習 グループワーク 担当教員 1～7回 松浦・井上 8～13回 有村 15回 西浦
	2	災害医療実施のための体系的アプローチ	
	3	災害看護の基礎知識	
	4	病院の災害看護の実際	
	5	ＢＬＳ	
	6		
	7	トリアージについて	
	8	看護管理の定義と基本的要素	
	9	看護とマネジメント	
	10	看護ケアのマネジメント	
	11	看護サービスのマネジメント	
	12	看護を取り巻く諸制度	
	13	マネジメントに必要な知識と技術①	
	14	終講試験　まとめ	
	15	病院における実際の看護管理	

評価方法	災害看護：５０点(筆記試験)　看護管理：５０点(筆記試験)　　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ看護の統合と実践①「看護管理」　メディカ出版 ナーシンググラフィカ看護の統合と実践③「災害看護」　メディカ出版
参考図書	ＤＶＤ「被災病院における災害直後の看護活動、入院患者と職員の安全を守るための情報・判断・行動」，日経映像
message	近年、わが国において大きな被害をもたらす災害が増え、その防災対策や救護・看護への期待は大きい。災害看護を通して国際協力を行う等グローバルな視点で看護を考えましょう。看護管理は非常に幅広い範囲の内容ですが、看護の質の向上には欠かせないものであり、看護師の業務にとって重要です。予習・復習をして授業に臨みましょう。
教員の実務経験	各々が看護師または教員として20年以上の実務経験を有している。 井上博（BLS）：救急救命士として10年の実務経験を有している。

授業科目	看護の統合と実践Ⅲ	年次	1年次	単位	1単位	担当者	高田　勝子
			前期	時間	15時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．国際看護の基礎的な知識を理解する 2．世界の健康問題と看護の現状と課題をふまえ、看護の国際協力の活動内容の実際を知る

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	国際看護の概念，異文化看護 国際協力機関の取り組み，ＯＤＡについて	講義
	2		
	3	リプロダクティブヘルス，母子保健， 女性生殖器切除についてグループワーク 感染症，ＨＩＶ/エイズ対策，貧困，栄養問題，衛生 海外の医療施設	
	4		
	5	外国人の現状，ＥＰＡ制度，メディカルツーリズム， 英国･米国の看護，検疫官の仕事，	
	6		
	7	海外で働く，英国で看護師になる，難民問題，世界の人口 海外の医療施設	
	8	終講試験	

評価方法	筆記試験 100 点満点
テキスト	系統看護学講座　「災害看護学・国際看護学　看護の統合と実践③」，医学書院
参考図書	資料配布
message	講義には既習の学習内容を踏まえた内容がたくさんあります。それらの知識を活用しながら学習してください。日頃からメディア・新聞・ 雑誌などの情報に関心を持ちましょう。諸外国で展開される、看護実践や国際的な支援活動について学び、国際的視野を広げていきましょう。
教員の実務経験	看護師や大学教員として20年以上の実務経験を有している。

授業科目	看護の統合と実践Ⅳ	年次	2年次	単位	1単位	担当者	森本美佐　他
			通年	時間	30時間		

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 4．知的好奇心をもって、生涯、継続的に学習する能力を身につけている
目標	1．看護研究に関する基礎知識を学ぶ 2．実際にケーススタディに取り組み、研究のプロセスを通じて研究の進め方の理解を深める 3．研究に取り組む姿勢を養う

授業計画 回数	講義内容	備考
1	看護研究とは　　看護研究のプロセス	講義 演習
2	看護研究の基礎学習（関西看護学生看護研究大会参加）	
3	文献検索とクリティーク　　看護研究と倫理	
4	主な看護研究のデザイン　　アンケート調査研究	
5	実験研究　　データの分析と尺度開発	
6	ケーススタディとは	
7	中間試験 草稿・原著の書き方　　集録・抄録の書き方	
8	看護研究発表の実際(効果的なプレゼンテーション)について	
9	ケーススタディの実際 計画書作成　　文献検索　　計画書にそって論文の作成 抄録作成　　発表原稿・スライド作成	各自、指導教員の指導のもとに進める
10		
11	抄録提出　準備	
12	リハーサル	
13・14	発表会の運営、講評	
15	論文修正、自己・他者評価	

評価方法	筆記試験（中間試験）30%　論文内容、発表内容、態度を含むルーブリック評価60% レポート10%　　100点満点
テキスト	ナーシンググラフィカ　基礎看護学④「看護研究」　　メディカ出版 第２４回関西看護研究大会演題集録
参考図書	黒田裕子：黒田裕子の看護研究 step up step　医学書院
Message	看護研究は、看護の発展と質の向上を目指した既習学習の集大成の科目です。授業では、自分たちの計画した研究計画書をもとにケーススタディにとりくみます。学生ひとりひとり取り組む内容が異なりますが、真摯にとりくんでください。 ケーススタディは担当教員以外の教員にも指導をしていただきます。指導教員へ事前に指導をうける日程などを相談してすすめてください。
教員の実務経験	看護師として実務経験5年以上及び専任教員として30年以上の実績を積み講義にあたっている。

授業科目	看護の統合と実践Ⅴ	年次	2年次 後期	単位 時間	1単位 30時間	担当者	餘目　尚代　他

DP	1．人間の尊厳を理解し、高い倫理観に基づき責任ある行動ができる 2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている
目標	1．複数患者の疾患を理解し、優先順位を考えた看護計画が立案できる 2．提示された看護場面から、看護実践中に生じる多重課題に対応できる 3．客観的能力試験（OSCE）を通し、自己の対応能力と課題が考えられる 4　統合実習に向けて、自己の課題を明確にできる

	回数	講義内容	備考
授業計画	1	臨床判断とは	講義
	2	多重課題と優先順位　　急変対応	
	3	受け持ち患者の情報整理	
	4	①　受け持ち患者の状態　　②看護計画 ③1日の行動計画作成　　④メンバー実習計画表	
	5	筆記試験	
	6	グループ学習　　情報の共有	
	7	事例から考えられることをグループで想定し対応を考える	
	8	→実践する	
	9		グループワーク
	10	OSCE	演習
	11	OSCE	
	12	デブリーフィング（振り返り）	
	13	リフレクション	
	14	リフレクション	
	15	グループワーク	

評価方法	客観的能力試験（OSCE）30点，リフレクション30点，筆記試験25点　授業への取り組み、課題提出15点　　各々評価表に基づく総合評価　　100点満点
message	今まで培ってきた知識と技術を統合して、設定された看護場面での対象の看護について学習します。さらに多重課題に対してどう判断して看護を展開するかを客観的臨床能力試験（OSCE）で評価していきます。緊張感の高い試験ですが、看護師に求められている能力を再度振り返り、学んでいきましょう。
教員の実務経験	看護師として実務経験30年以上及び専任教員として5年以上の実績を積み講義にあたっている。

授業科目	統合看護演習Ⅰ	年次	2年次	単位	1単位	担当者	森本　美佐 嶋田もとみ 大庭　未央
			前期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている
目標	1．既習の学習を基に対象者の看護問題のアセスメント、診断、計画、実践に向けて看護を統合的に考える能力を習得する 2．グループワークや自己学習を活用しながら事例検討を行い、看護を統合的にとらえ臨床判断能力や自己学習能力を培う

授業計画	回数	講義内容	備考
	1	成人事例検討	講義　　演習 グループワーク 担当教員 1～5回　　嶋田 6～10回　大庭 11～15回　森本
	2	①情報収集	
	3	②分析・解釈・統合	
	4	③看護上の問題（看護診断）抽出	
	5	④援助計画立案 ⑤まとめ	
	6	老年事例検討	
	7	①情報収集	
	8	②分析・解釈・統合	
	9	③看護上の問題（看護診断）抽出	
	10	④援助計画立案 ⑤まとめ	
	11	地域・在宅事例検討	
	12	①情報収集	
	13	②分析・解釈・統合	
	14	③看護課題〈健康課題〉抽出	
	15	④援助計画立案 ⑤まとめ	

評価方法	レポート　　それぞれのレポート100点満点で平均を算出する
テキスト	NANDA-1看護診断　定義と分類　医学書院
参考図書	適宜資料を配布する
message	授業は、対象の健康状態を分析的に判断し、分析結果に基づいて看護の必要性を判断していきます。そのためには事前に基礎的学習（解剖生理学、病理学、疾病論など）をしっかり行っておくことが必要です。
教員の実務経験	各々が看護師・専任教員として30年以上の実績を有し講義にあたっている。

授業科目	統合看護演習Ⅱ	年次	2年次	単位	1単位	担当者	餘目　尚代 小川　里予 竹本　可予
			前期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている
目標	1．既習の学習を基に対象者の看護問題のアセスメント、診断、計画、実践に向けて看護を統合的に考える能力を習得する 2．グループワークや自己学習を活用しながら事例検討を行い、看護を統合的にとらえ、臨床判断能力や自己学習能力を培う

	回数	講義内容	備考
授業計画	1	小児事例検討	講義　　演習 グループワーク 担当教員 1～5回　　小川 6～10回　竹本 11～15回　餘目
	2	①情報収集	
	3	②分析・解釈・統合	
	4	③看護上の問題（看護診断）抽出	
	5	④援助計画立案 ⑤まとめ	
	6	母性事例検討	
	7	①情報収集	
	8	②分析・解釈・統合	
	9	③看護上の問題（看護診断）抽出	
	10	④援助計画立案 ⑤まとめ	
	11	精神事例検討	
	12	①情報収集	
	13	②分析・解釈・統合	
	14	③看護課題〈健康課題〉抽出	
	15	④援助計画立案 ⑤まとめ	

評価方法	レポート　　それぞれのレポート100点満点で平均を算出する
テキスト	NANDA-1看護診断　定義と分類　医学書院
参考図書	適宜資料を配布する
message	授業は、対象の健康状態を分析的に判断し、分析結果に基づいて看護の必要性を判断していきます。そのためには事前に基礎的学習（解剖生理学、病理学、疾病論、各看護学など）をしっかり行っておくことが必要です。
教員の実務経験	二人が看護師や教員として30年以上の実務経験を有している。

授業科目	統合看護演習Ⅲ	年次	2年次	単位	1単位	担当者	餘目　尚代
			前期	時間	30時間		

DP	2．幅広い知識と看護に求められる専門的技術を修得し、看護活動に取り組める能力を身につけている 3．保健医療チームの一員としての役割を果たすために必要なコミュニケーション能力を身につけている
科目目標	1．健康上の問題を抱える人々の状況を設定した演習を通して、臨地実習では抑えきれない「診療の補助」に関する技術を習得する 2．医療事故や感染予防を考慮した技術ができる 3．実施した看護援助について科学的視点から考察することができる

授業計画 回数	講義内容	備考
1	「診療の補助」に関する技術	講義 演習
2	・輸液管理　　・輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱い	
3	・酸素吸入、酸素ボンベの取り扱い	
4	「診療の補助」に関する技術	
5	・採血、血糖測定、吸引、注射に関する知識の確認	
6	「診療の補助」に関する技術	
7	・採血　　・血糖測定	
8		
9	「診療の補助」に関する技術	
10	・吸引　　・注射	
11		
12	・医療安全、感染予防を考慮した技術	
13	・看護技術援助の振り返りと自己の課題	
14		
15	・課題レポート	

評価方法	課題レポート60%　提出課題30%　授業参加状況10%　100点満点
テキスト	系統看護学講座　専門　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学3　医学書院
参考図書	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③基礎看護技術Ⅱ　看護実践のための援助技術　メディカ出版
Message	既習科目の復習をしっかり行い、技術演習に臨んでください。安全で安楽な技術が提供できるよう、自己を分析し積極的に取り組みましょう。 臨地実習で抑えきれない技術の実践も含め、視野を広げて実習に取り組めるように学習しましょう。
教員の実務経験	看護師として実務経験30年以上及び専任教員として5年以上の実績を積み講義にあたっている。

臨地実習概要

科　目	単位	時間	目　　標	実習の内容	実習場所
基礎看護学実習	2	90	対象者と良好な人間関係を築くことができる 対象者を身体的・精神的・社会的側面から捉え、対象者に応じた看護過程の展開方法を知る 自己の看護実践能力を評価し、倫理的態度の基礎を養う	1人間関係形成への関わり 2対象の身体的・精神的・社会的側面からの理解 3看護過程の展開技術 4日常生活援助技術	病院
地域・在宅看護論実習Ⅰ	1	35	住民が生活している地域の特徴と健康課題を知る 個人・家族の多様性に気付き、生活している人としてとらえることができる 地域看護活動の実践の場である地域包括支援センター、学校、産業における地域看護の役割や機能を知る 地域包括支援システムにおける多職種、他機関との連携の実際を知る	1地域における包括的支援の実際とセンターの役割や業務内容 2地域探索 3学校保健、産業保健活動の実際の見学と看護職者の役割の理解	地域包括支援センター 健康増進施設 小中学校 本校（産業保健の講義）
地域・在宅看護論実習Ⅱ	2	70	在宅療養者と家族を総合的にとらえることができる 在宅療養者や家族の療養上の課題をアセスメントし、問題解決に向けての看護援助を考えることができる 在宅療養者と家族の自己決定権を尊重し、QOL を支えるための援助の実際を理解することができる 在宅療養者と家族を支えるための社会資源の活用や、保健医療福祉チームにおける看護師の役割と責任を理解することができる 看護学生としての責任を自覚し、在宅療養者と家族を尊重した態度や行動をとることができる 実習で体験した事象を探求し、地域・在宅看護観を持つことができる	1在宅で療養している療養者、家族を対象とした看護 2在宅療養を支える施設における看護 3福祉機器やバリアフリー住宅、各種ケア用品などを見学し、生活者の視点をイメージでき、社会資源の提供方法について学ぶ	訪問看護ステーション
成人・老年看護学実習Ⅰ	2	90	生活者としての周術期の状況にある対象の特徴が理解できる 対象と家族・近親者のそれぞれの役割	1成人・老年期にある患者の看護過程の展開、臨床判断 2急性期・周術期における病態・	病院

科　目	単位	時間	目　　標	実習の内容	実習場所
			や不安を理解し、対処し適応していくための支援が理解できる 対象の危機的状態・治療や手術侵襲による生体反応、合併症を予測し、回復過程を理解し、個別性のある健康回復への援助ができる 看護過程を通して臨床判断の拠りどころとなる思考を身につける 生命の危機的状態にある対象の生命を守り、回復を目指す保健医療福祉チームの協働の重要性と各々の役割が理解できる	治療・症状と患者の生活に及ぼす影響 ３苦痛の緩和、早期回復に向けての援助 ４倫理的配慮	
成人・老年看護学実習Ⅱ	2	90	発達段階や健康段階を理解し、対象を身体的・精神的・社会的・スピリチュアリティな側面から全人的にとらえることができる 健康状態の改善につながる対象の強みを見出し、全体像から看護の方向性を示すことができる 対象らしい生活を目標に、安全・安楽・自立を考慮した看護を実践できる 対象とその家族のQOLの維持・向上をさせる要因がわかる 地域での生活につなぐための多職種連携と看護の役割を考えることができる 看護観・老年間を深め、看護者として自律的で人間尊重の態度が身につく	１成人・老年期にある患者の看護過程の展開 ２回復期・慢性期における生活の再構築に向けた支援 ３家族への支援 ４社会資源の活用と、保健・医療・福祉の連携 ５倫理的配慮	病院
小児看護学実習	2	90	子どもの情報から、個々の成長発達を理解し評価できる 子どもをとりまく環境や、健康障害、治療を理解し、成長発達や生活状況、家族に及ぼす影響を理解できる 子どもの看護を、安全・安楽の観点を含めて考えることができる 幼児期の成長発達を理解し、健全な成長発達を促すための保育の実際を学ぶ	１受け持ち患児に応じた日常生活の援助 ２看護上の問題に応じた適切な援助 ３外来における看護の実際 ４安全管理 ５成長発達段階とその特徴 ６他職種との連携の中での看護師の役割	病院 幼稚園 児童発達支援放課後等ディサービス

科　目	単位	時間	目　　標	実習の内容	実習場所
			医療・保健・福祉・教育の連携の中で小児看護の役割が理解できる 実習を通して、子どもの権利や安全について考え自己の看護観を深めることができる		
母性看護学実習	2	90	妊娠期にある対象の特徴および対象が健康に妊娠期を送るための援助について理解を深めることができる 分娩期にある対象の特徴および分娩が正常に経過するための観察と援助について理解を深めることができる 産褥期にある対象の身体的・精神的・社会的変化、および産褥期を順調に経過するための援助について理解を深めることができる 正常な新生児の生理的経過と生活行動を理解し説明できる 地域の子育て支援の実際について見学し、育児期の母子と家族を支える社会システムについて説明できる 周産期の専門的な基幹施設の役割を理解し、医療機関との連携や高度な医療を必要とする対象への看護を学ぶことができる 母性看護における看護師としての役割を考えることができる	1妊娠の生理的変化の理解 2健康診査と保健指導の見学 3分娩進行状態の観察と看護4産褥経過の観察と看護 5看護過程の展開技術 6新生児の特徴と胎外生活適応のための看護 7NICU 看護の見学 8育児期にあたる母子の現状と支援の見学	病院 助産所 子育て支援センター 産前産後ケアセンター 総合周産期母子医療センター
精神看護学実習	2	90	精神障害を持つ人を身体的、心理・社会的な側面から全人的に理解できる 対象の希望や困りごとに寄り添い、ストレングスの視点で看護を実践することができる 精神に障害を持つ対象の安全管理と人権擁護の重要性について理解できる 患者―看護師関係の発展過程を理解し、自己洞察することができる 対象がその人らしく生活できるための多職種連携と地域包括ケアシステムについて理解できる	1対象者を発達の特性、疾病の特性、現在のセルフケアの状態、ストレングスマッピングシートから全体像をとらえる 2コミュニケーション技術 3関り場面の再構成と振り返り 4対象者がリカバリーの視点で回復する過程の理解と支援 5多職種の役割の理解と連携の実際 6地域で生活する人を支援する社会資源の活用の実際	病院 通所施設

科　目	単位	時間	目　　標	実習の内容	実習場所
看護の統合と実践実習	2	90	チーム医療の一員として必要な多職種との連携や看護の役割を理解する 看護チームの一員として看護を実践する看護師の役割を理解する 病院組織における看護管理の実際を理解する 臨床判断思考を活用しながら、優先順位及び時間管理を考慮した看護を実践する 看護師として社会人になる自覚を持ち、看護の専門職者としての自己の課題を明確にする	1チーム医療と看護師としてのリーダーシップ、メンバーシップの実際 2看護管理の実際 3複数患者への看護の実際	病院